

13

産業別就業者数(15歳以上)

・産業別就業者数をみると第三次産業の割合が八女市全体で57.2%、上陽町全体で54.0%となっている。

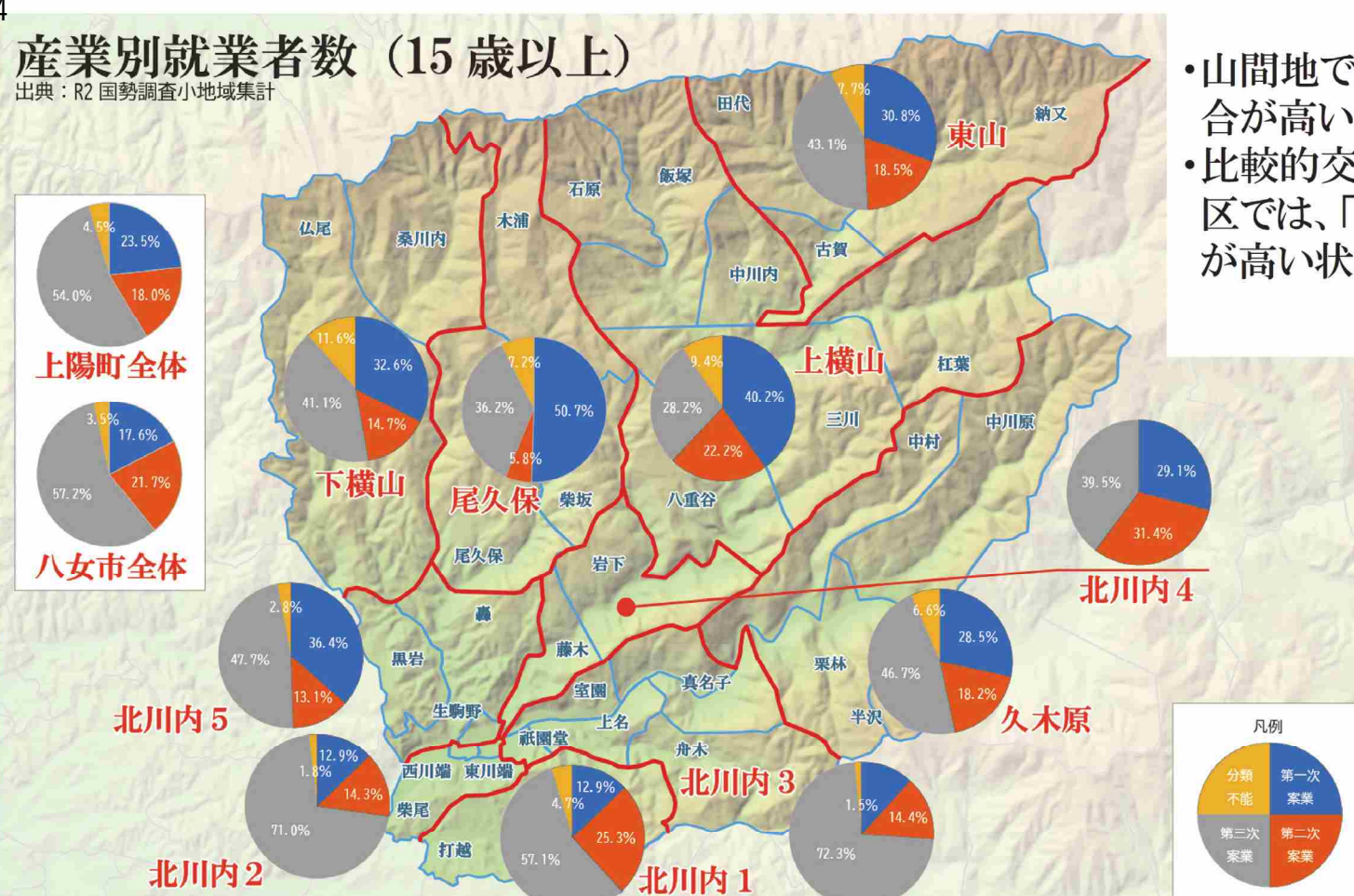
	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能	
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
北川内第1支部	233	30	12.9%	59	25.3%	133	57.1%	11	4.7%
北川内第2支部	279	36	12.9%	40	14.3%	198	71.0%	5	1.8%
北川内第3支部	202	24	11.9%	29	14.4%	146	72.3%	3	1.5%
北川内第4支部	86	25	29.1%	27	31.4%	34	39.5%	0	0.0%
北川内第5支部	107	39	36.4%	14	13.1%	51	47.7%	3	2.8%
久木原	137	39	28.5%	25	18.2%	64	46.7%	9	6.6%
尾久保	69	35	50.7%	4	5.8%	25	36.2%	5	7.2%
下横山	95	31	32.6%	14	14.7%	39	41.1%	11	11.6%
上横山	117	47	40.2%	26	22.2%	33	28.2%	11	9.4%
東山	65	20	30.8%	12	18.5%	28	43.1%	5	7.7%
上陽町全体	1,390	326	23.5%	250	18.0%	751	54.0%	63	4.5%
八女市全体	30,782	5,420	17.6%	6,666	21.7%	17,620	57.2%	1,076	3.5%

出典：国勢調査 小地域集計

14

産業別就業者数 (15 歳以上)

出典：R2 国勢調査小地域集計



国立情報学研究所 Geoshape リポジトリ - 地理形状データ共有サイト 地理院タイル「色別標高図」、国勢調査町丁・字等別境界データ（2020 年）をベクトルタイルに加工をベース図に利用

15

従業地・通学地別就業者・通学者数（15歳以上）

- ・就業者及び通学者がどこに通勤通学しているのかを示す、従業地・通学地別就業者・通学者数をみると、「自宅」という回答が八女市全体で21.8%、上陽町全体で27.1%。
- ・「市内」が八女市全体で46.3%、上陽町全体で48.7%。
- ・「県内他市町村」が八女市全体で26.7%、上陽町全体で18.7%となっている。

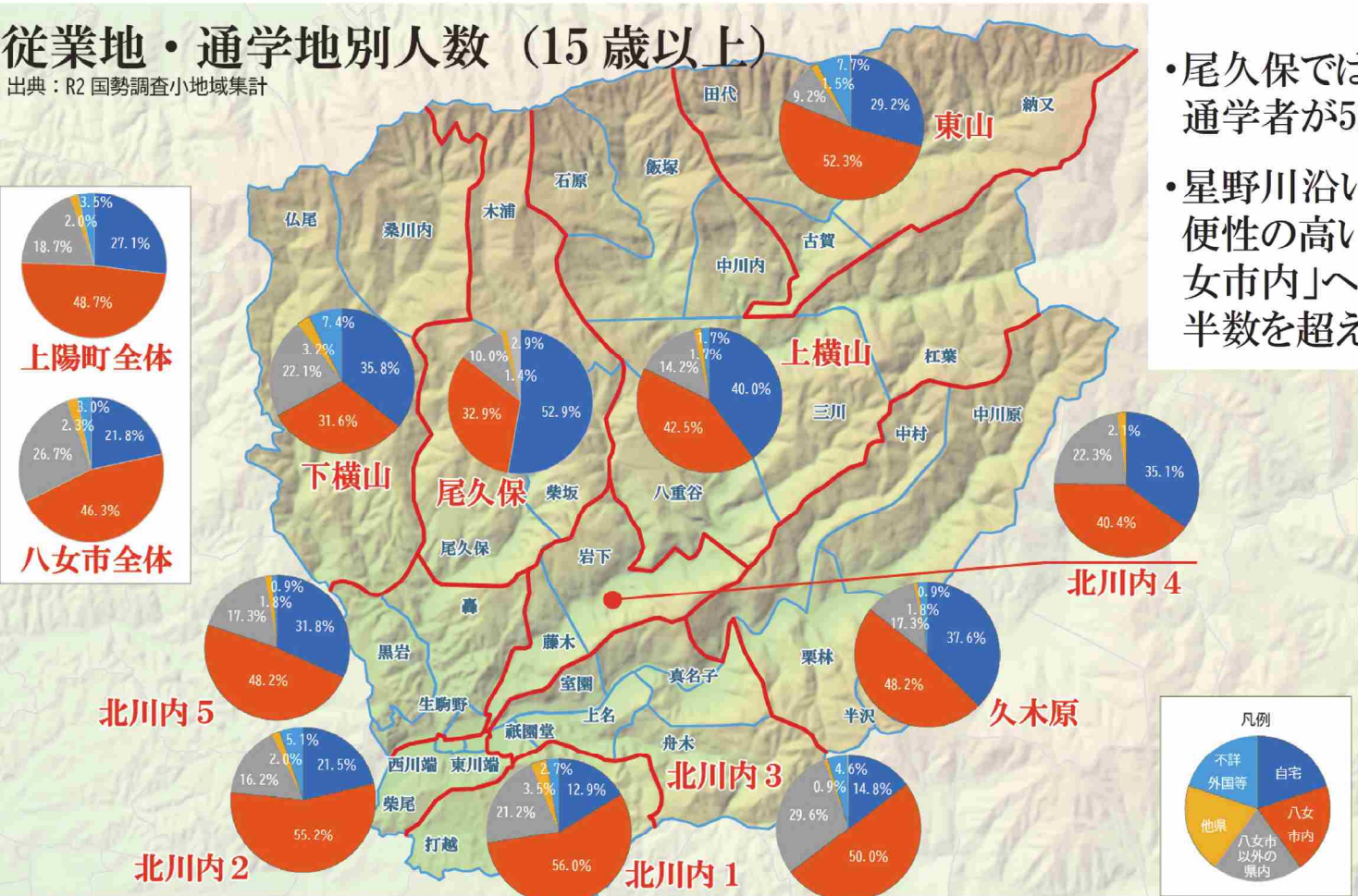
	総数	自宅		八女市内		八女市以外の 県内他市町村		他県		不詳・外国等	
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
北川内第1支部	259	43	16.6%	145	56.0%	55	21.2%	9	3.5%	7	2.7%
北川内第2支部	297	64	21.5%	164	55.2%	48	16.2%	6	2.0%	15	5.1%
北川内第3支部	216	32	14.8%	108	50.0%	64	29.6%	2	0.9%	10	4.6%
北川内第4支部	94	33	35.1%	38	40.4%	21	22.3%	2	2.1%	0	0.0%
北川内第5支部	110	35	31.8%	53	48.2%	19	17.3%	2	1.8%	1	0.9%
久木原	141	53	37.6%	68	48.2%	16	11.3%	1	0.7%	3	2.1%
尾久保	70	37	52.9%	23	32.9%	7	10.0%	1	1.4%	2	2.9%
下横山	95	34	35.8%	30	31.6%	21	22.1%	3	3.2%	7	7.4%
上横山	120	48	40.0%	51	42.5%	17	14.2%	2	1.7%	2	1.7%
東山	65	19	29.2%	34	52.3%	6	9.2%	1	1.5%	5	7.7%
上陽町全体	1,467	398	27.1%	714	48.7%	274	18.7%	29	2.0%	52	3.5%
八女市全体	33,217	7,226	21.8%	15,367	46.3%	8,863	26.7%	779	2.3%	982	3.0%

出典：国勢調査 小地域集計

16

従業地・通学地別人数（15歳以上）

出典：R2 国勢調査小地域集計



国立情報学研究所 Geoshape リポトリ - 地理形状データ共有サイト 地理院タイル「色別標高図」、国勢調査町丁・字等別境界データ（2020年）をベクトルタイルに加工をベース図に利用

17

利用交通手段別通勤者・通学者数（15歳以上）

- ・通勤通学者の交通手段をみると、「自家用車」という回答が八女市全体で76.0%、上陽町全体で79.9%。
- ・次いで「自転車」が八女市全体で6.9%、上陽町全体で3.0%。
- ・「徒歩のみ」が八女市全体で4.5%、上陽町全体で5.1%となっている。

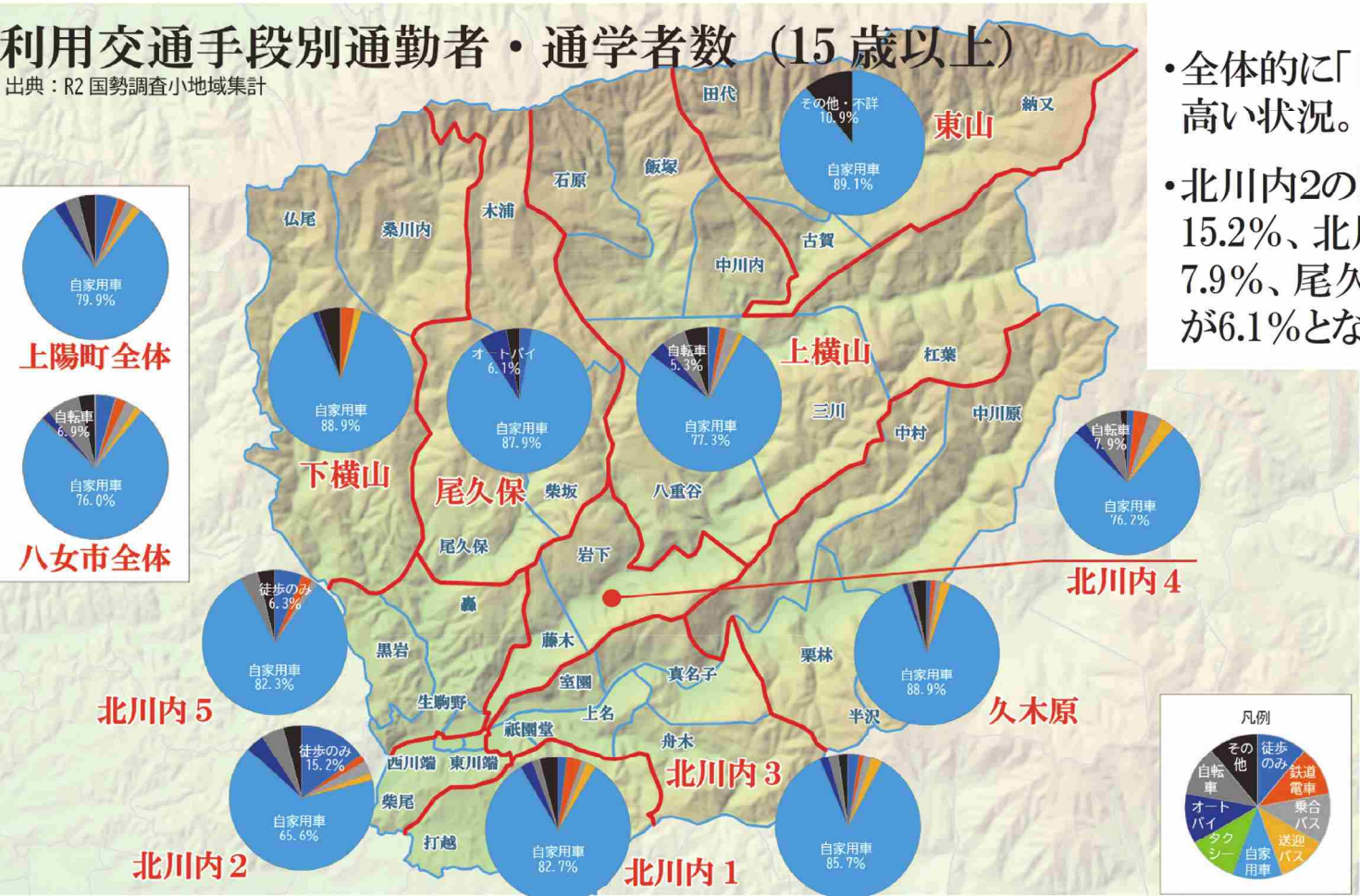
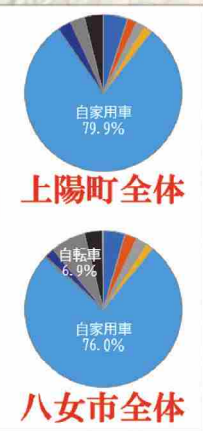
	徒歩のみ		鉄道・電車		乗合バス		勤め先・学校のバス		自家用車		ハイヤー・タクシー		オートバイ		自転車		その他・不詳	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
北川内第1支部	5	2.2%	7	3.1%	3	1.3%	5	2.2%	186	82.7%	0	0.0%	6	2.7%	4	1.8%	9	4.0%
北川内第2支部	37	15.2%	4	1.6%	7	2.9%	4	1.6%	160	65.6%	0	0.0%	10	4.1%	12	4.9%	10	4.1%
北川内第3支部	5	2.6%	2	1.1%	3	1.6%	5	2.6%	162	85.7%	0	0.0%	4	2.1%	4	2.1%	4	2.1%
北川内第4支部	1	1.6%	2	3.2%	2	3.2%	2	3.2%	48	76.2%	0	0.0%	2	3.2%	5	7.9%	1	1.6%
北川内第5支部	5	6.3%	2	2.5%	1	1.3%	0	0.0%	65	82.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	3	3.8%
久木原	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%	2	2.2%	80	88.9%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	3	3.3%
尾久保	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	29	87.9%	0	0.0%	2	6.1%	0	0.0%	1	3.0%
下横山	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	1	1.6%	56	88.9%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	3	4.8%
上横山	2	2.7%	1	1.3%	2	2.7%	1	1.3%	58	77.3%	0	0.0%	3	4.0%	4	5.3%	4	5.3%
東山	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	41	89.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.9%
上陽町全体	57	5.1%	21	1.9%	19	1.7%	20	1.8%	885	79.9%	0	0.0%	29	2.6%	33	3.0%	43	3.9%
八女市全体	1,221	4.5%	727	2.7%	567	2.1%	446	1.7%	20,532	76.0%	18	0.1%	587	2.2%	1,877	6.9%	1,051	3.9%

出典：国勢調査 小地域集計

18

利用交通手段別通勤者・通学者数（15歳以上）

出典：R2 国勢調査小地域集計



- ・全体的に「自家用車」の割合が高い状況。
- ・北川内2の「徒歩のみ」が15.2%、北川内4の「自転車」が7.9%、尾久保の「オートバイ」が6.1%となっている。



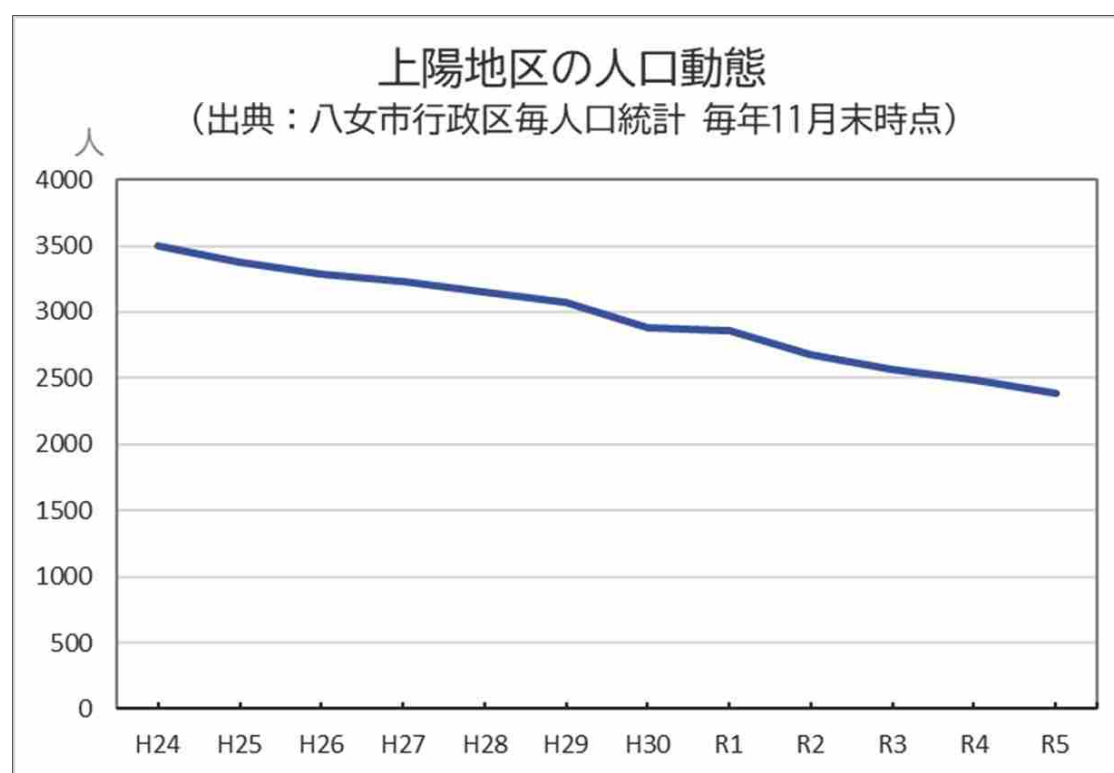
国立情報学研究所 Geoshape リポトリ - 地理形状データ共有サイト 地理院タイル「色別標高図」、国勢調査町丁・字等別境界データ（2020年）をベクトルタイルに加工をベース図に利用

巻末―3. 住民基本台帳による上陽地区の人口動態

住民基本台帳による上陽地区の人口動態として、八女市ホームページで公開されている「八女市行政区毎人口統計」の11月末時点の上陽地区の男女合わせた人口を各年毎に取りまとめました。

平成24年時点では3,503人であった人口が、令和5年時点では2,384人であり、11年間で1,119人の減少、年平均で102人/年もの大きな減少がみられる結果となっています。

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	H24→R5 (人)	年平均 (人)
11月末人口(人)	3,503	3,381	3,290	3,230	3,146	3,070	2,885	2,853	2,680	2,561	2,486	2,384	-1,119	-102
前年との差		-122	-91	-60	-84	-76	-185	-32	-173	-119	-75	-102	-1,119	-102



巻末—4. 前計画の達成度評価（集計結果）

前計画の達成度評価の集計結果を以下に掲載します。

現計画の達成度評価（集計結果）

平成30年5月に改定された、現上陽地区地域振興計画の達成度評価を以下の通り実施した。

評価方法：地域振興計画策定委員25名を評価者として、現計画の主要施策項目毎に、「達成」、「一部達成」、「未達」の三段階で評価。

実施期間：令和5年5月23日開催の第一回上陽地区地域振興計画策定委員会で評価表を配布、

令和5年7月18日開催の第二回策定委員会で回収した。

I 安全安心の維持

基本目標Ⅰ「基本目標安全安心の維持」の各主要施策について以下のようになっている。

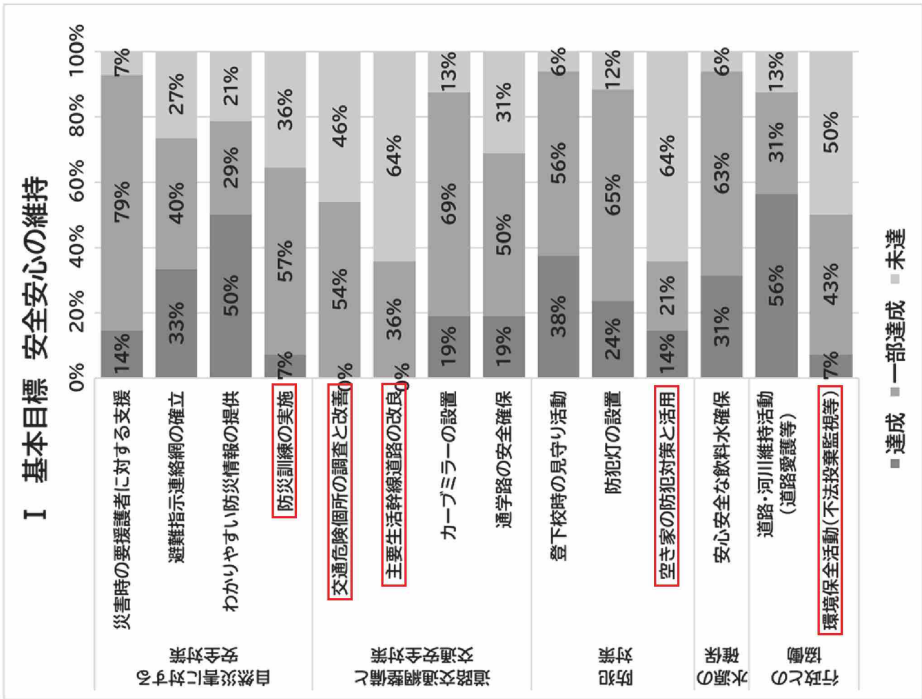
まず、「自然災害に対する安全対策」では、「防災訓練の実施」の評価が低い状況。

「道路交通網整備と交通安全対策」では、「交通危険箇所の調査と改善」と「主要生活幹線道路の改良」の「達成」評価が0%となっている。

「防犯対策」では、「空き家の防犯対策と活用」の評価が低い。

「水源の確保」は、ある程度高い評価。

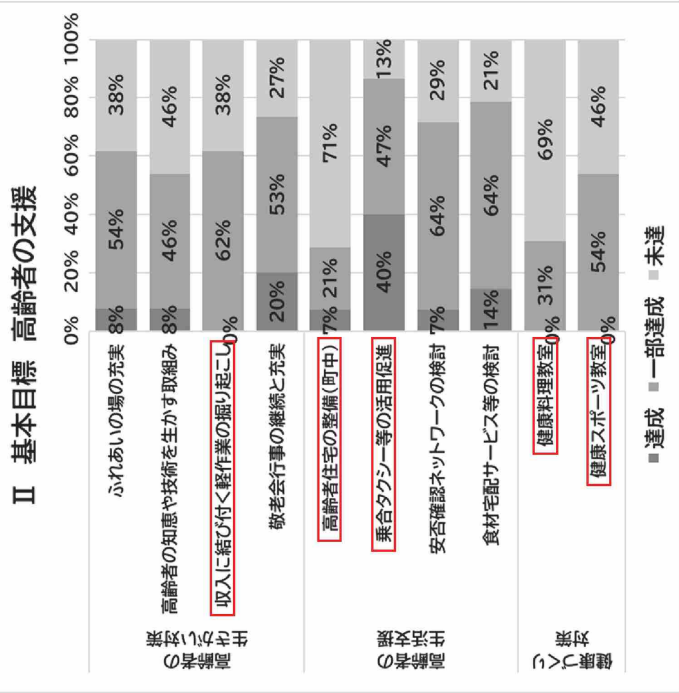
「行政との協働」では、「環境保全活動（不法投棄監視等）」が低い評価となっている。



自由解答

自然災害に対する安全対策

- ・災害時の要援護者に対する支援
各支部によって差あり
地区によって違う。となり組の組ごとに決めた方が
良い
- ・避難指示連絡網の確立
各支部によって差あり
地区によって違う。となり組の組ごとに決めた方が
良い



II 高齢者の支援

基本目標Ⅱ「高齢者の支援」の各主要施策について以下のような結果となっている。

まず、「高齢者の生きがい対策」では、「収入に結び付く軽作業の掘り起こし」が低い評価。

「高齢者の生活支援」では、「乗合タクシー等の活用促進」が高く、「高齢者住宅の整備(町中)」が低い評価。

「健康づくり対策」では、どちらの施策も「達成」評価が0%となっている。

IV伝統文化の継承

基本目標IV「伝統文化の継承」の主要施策「伝統行事、文化の継承」については、「上陽の歴史文化の伝承」と「文化活動の開催」の評価が若干低い結果となっている。

IV 基本目標 伝統文化の継承

各地区に残る由来の伝承	27%	60%	13%
地域行事の継承	31%	63%	6%
上陽の歴史文化の伝承	13%	73%	13%
文化活動の開催	19%	56%	25%

■ 達成 ■ 一部達成 ■ 未達

自由解答

伝統行事、文化の継承

・各地区に残る由来の伝承
少子高齢化でマンパワー不足
コロナで無くなりつつある

・地域行事の継承
少子高齢化でマンパワー不足
コロナで無くなりつつある

V地域交流

基本目標V「地域交流」の主要施策「コミュニケーション活動の促進」については、「あいざつ・声かけ運動」の「達成」評価が高い結果となっている。

V 基本目標 地域交流

あいざつ・声かけ運動	47%	40%	13%
新たな地域コミュニケーション	15%	23%	62%
地域間交流イベント	15%	23%	62%
多世代交流イベント	21%	21%	57%

■ 達成 ■ 一部達成 ■ 未達

自由解答

コミュニケーション活動の促進

・あいざつ・声かけ運動
オアシス運動立て看板設置
子どもがあいざつしなくなった

・新たな地域コミュニケーション
コロナ？
指導者不足

9

自由解答

高齢者の生きがい対策

・ふれあいの場の充実
各支部でサロン未実施

・高齢者の知恵や技術を生かす取り組み
高齢者も現役である

・収入に結び付く軽作業の掘り起こし

高齢者の生活支援

・高齢者住宅の整備(町中)
コンパクトシティを作る

・乗合タクシー等の活用促進
上陽町内に2台運行中

・安否確認ネットワークの検討

健康づくり対策

・健康料理教室
コロナ？
各支部で実施なし

・健康スポーツ教室
コロナ？
行政以外未実施

Ⅲ 子育ての支援

基本目標Ⅲ「子育ての支援」の主要施策「子どもの育つ環境」については、「子どもたちへの声かけ見守り活動」の「達成」評価が高い結果となっている。

自由解答

子どもの育つ環境

・子どもたちへの声かけ見守り活動
なかなか難しい

・子育て世代と経験世代との交流会
コロナ？
なかなか難しい

子どもの居場所づくり

・子どもたちの居場所づくり
なかなか難しい

・子育て住宅の整備
コンパクトシティーをつくる

Ⅲ 基本目標 子育ての支援

子どもたちへの声かけ見守り活動

子育て世代と経験世代との交流会

子どもの居場所づくり

子育て住宅の整備

0% 20% 40% 60% 80% 100%

36% 43% 21%

15% 31% 54%

14% 57% 29%

14% 36% 50%

■ 達成 ■ 一部達成 ■ 未達

3

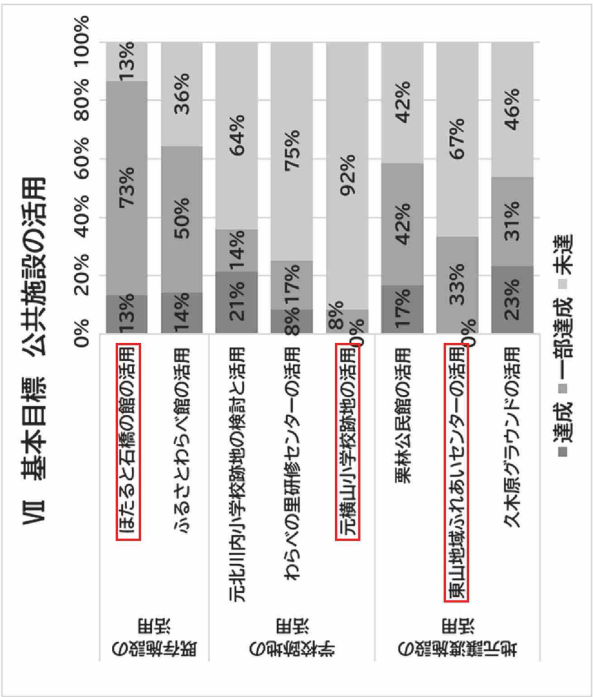
Ⅶ公共施設の活用

基本目標Ⅶ「公共施設の活用」の各主要施策について以下のような結果となっている。

まず、「既存施設の活用」では、「ほたると石橋の館の活用」の評価が高い状況。

「学校跡地の活用」では、「元横山小学校跡地の活用」の「達成」評価が0%となっている。

また、「地元公共譲渡の活用」では、「東山地域ふれあいセンターの活用」が「達成」評価が0%となっている。



自由解答

既存施設の活用

・ほたると石橋の館の活用
コロナ？
利用客増加もコロナ影響
どういうリニューアルになるか住民に説明がない。

不安。
・ふるさとわらべ館の活用
コロナ？
利用客増加もコロナ影響

学校跡地の活用

・元北川内小学校跡地の検討と活用
コロナ？
多目的Pで活用
駐車場として活用できている

・わらべの里研修センターの活用

コロナ？
老朽化が著しい

・元横山小学校跡地の活用
コロナ？
なかなか難しい

地元譲渡施設の活用

・栗林公民館の活用
コロナ？
支部公民館活用

・東山地域ふれあいセンターの活用
コロナ？

支部公民館活用

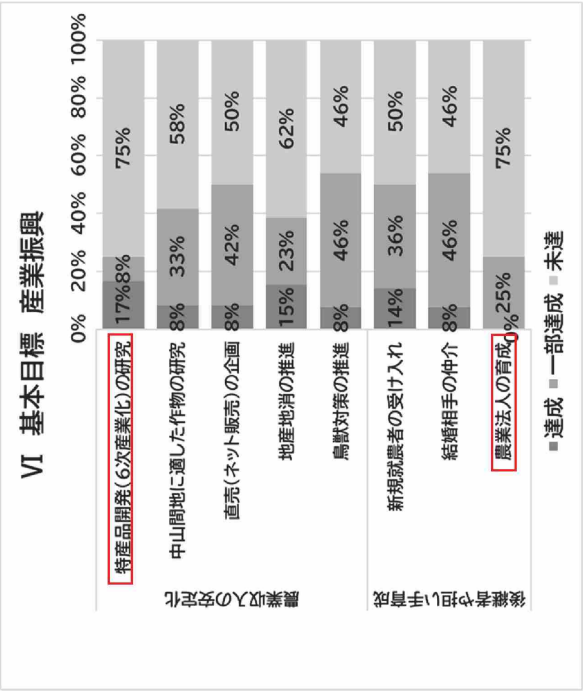
・久木原グラウンドの活用
コロナ？
支部で整備し活用

Ⅵ産業振興

基本目標Ⅵ「産業振興」の各主要施策について以下のような結果となっている。

まず、「農業収入の安定化」では、「特産品開発(6次産業化)の研究」が「達成」評価はこの施策中の項目の中では高いものの、「未達」評価も高い状況。

「後継者や担い手育成」では、「農業法人の育成」の「達成」評価が0%となっている。



自由解答

農業収入の安定化

・特産品開発(6次産業化)の研究
個人は一部あるも団体無し

・中山間地に適した作物の研究
個人は一部あるも団体無し

・直売(ネット販売)の企画
後継者や担い手育成

個人は一部あるも団体無し

・地産地消の推進
個人は一部あるも団体無し

・鳥獣対策の推進
個人は一部あるも団体無し
共存していくしかない

・新規就農者の受け入れ
農林業での生計難しい

・結婚相手の仲介
市で一部実施

・農業法人の育成
リーダーがいけない

・さるこ(フットパス)コース整備
コロナ？
さるこ部会で活動中
・グリーンツーリズムの推進

その他

コメリ前の水路にフタをかぶせないと危ない

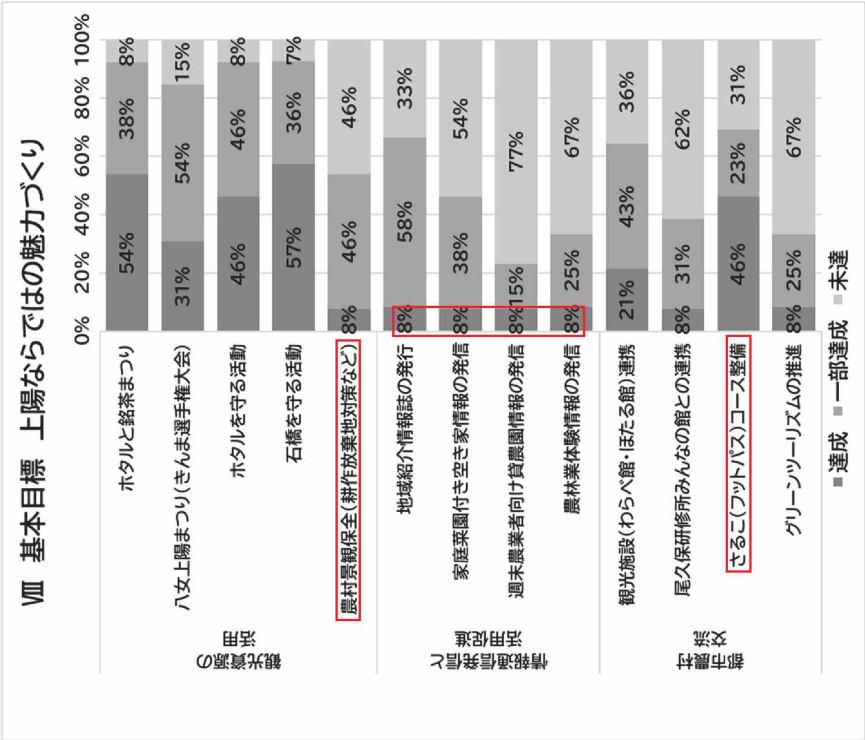
以上

コロナ？
実施していない

Ⅷ上陽ならではの魅力づくり

基本目標Ⅷ「上陽ならではの魅力づくり」の各主要施策について以下のような結果となっている。
まず、「観光資源の活用」では、各施策の「達成」評価は高いものの、「農村景観保全（耕作放棄地対策など）」の評価が低い状況。

「情報通信発信と活用促進」では、各施策の「達成」評価が8%と低い状況。
また、「都市農村交流」では、「さるこ(フットパス)コース整備」の「達成」評価が高い状況。



自由解答

観光資源の活用

・ホテルと銘茶まつり
コロナ？
毎年開催中
・八女上陽まつり(きんま選手権大会)
コロナ？
コロナ拡大以降中止
・ホテルを守る活動
情報通信発信と活用促進

コロナ？
守る会で活動中
活動はしているが災害続きでホテルが増えない
・石橋を守る活動
守る会で活動中
・農村景観保全(耕作放棄地対策など)
放棄地拡大で対策難しい

情報通信発信と活用促進

・地域紹介情報誌の発行
実施していない
・家庭菜園付き空き家情報の発信
実施していない
都市農村交流

・週末農業者向け貸農園情報の発信
実施していない
・農林業体験情報の発信
実施していない

都市農村交流

・観光施設(わらべ館・ほたる館)連携
コロナ？
八女 SUN・SUN 実施中

・尾久保研修所みんなの館との連携
コロナ？
前活動者撤退した

(1)まちづくりアンケート調査(集計結果:高校生以上全住民対象)

まちづくりアンケート調査集計結果を以下に掲載します。

まちづくりアンケート調査集計結果を以下に掲載します。

まちづくりアンケート調査結果(集計結果)

上陽地区居住者全員アンケート調査を行った。

調査方法：各行政区長の協力により、市報と同時に高校生以上の住民全員に対して配布、回収。

実施期間：令和5年7月28日配布、8月31日までに回収

有效回答: 1,320 通 (有効回答率 61%)

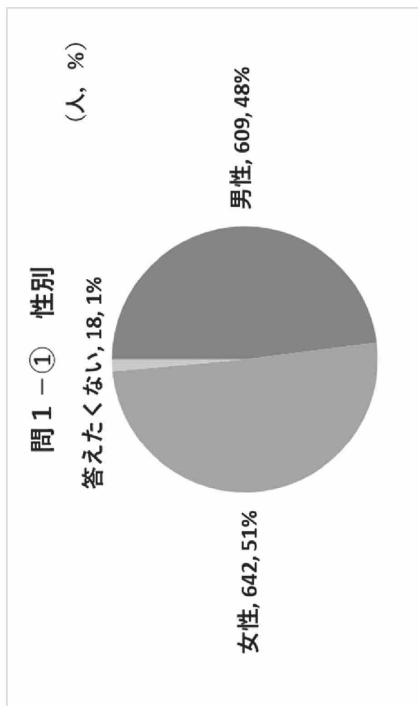
問1. あなたご自身について

①性別

回答者の性別は、

「男性」1609人 48%

「女性」642人51%。



②年齢

回答者の年齢は、

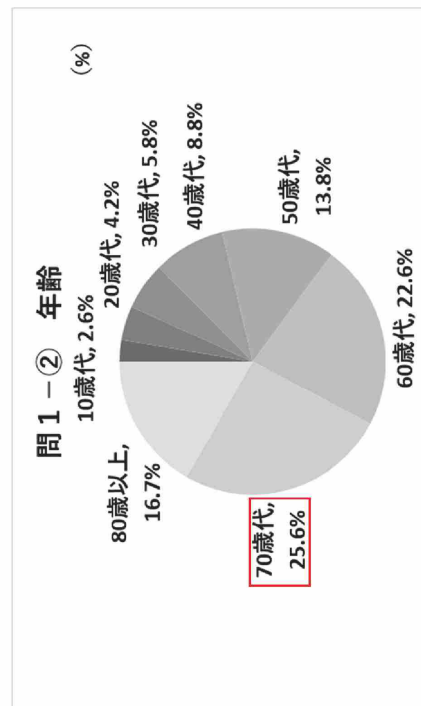
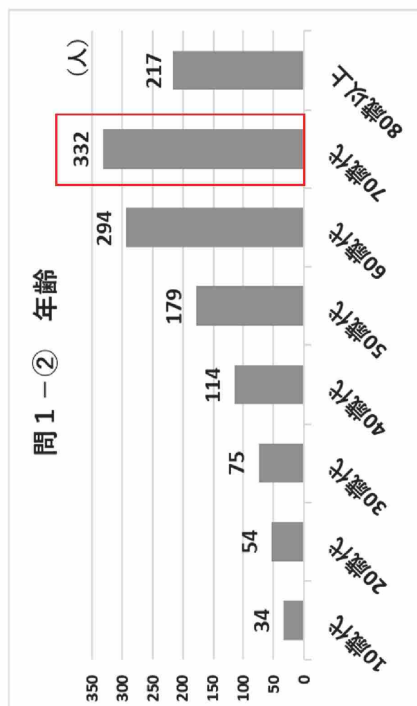
「70歳代」が25.6%と最多、

次いで「60歳代」22.6%、

「80歳以上」16.7%、

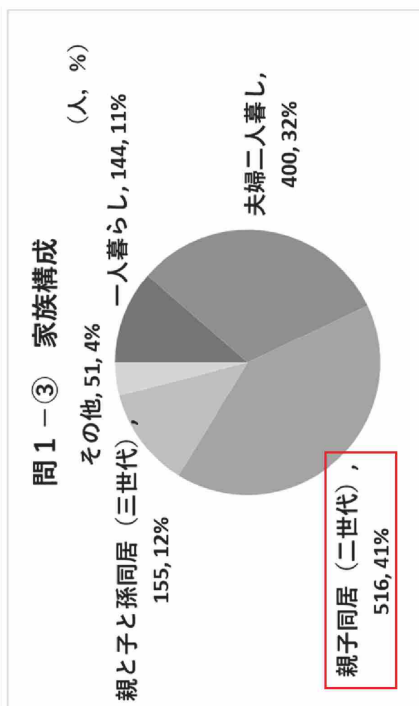
「50歳代」13.8%と続き、

最少の「10歳代」は2.6%であった。



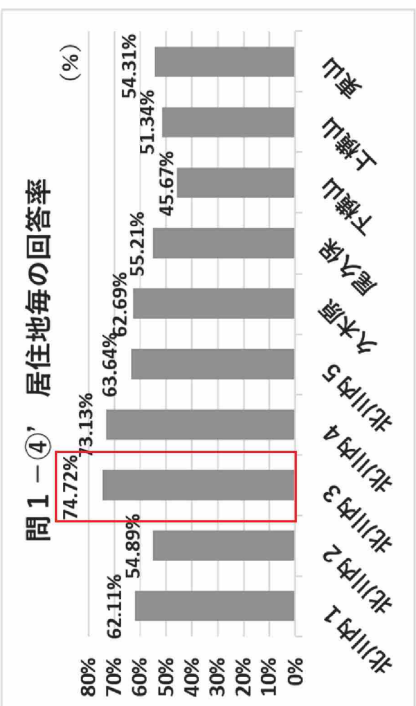
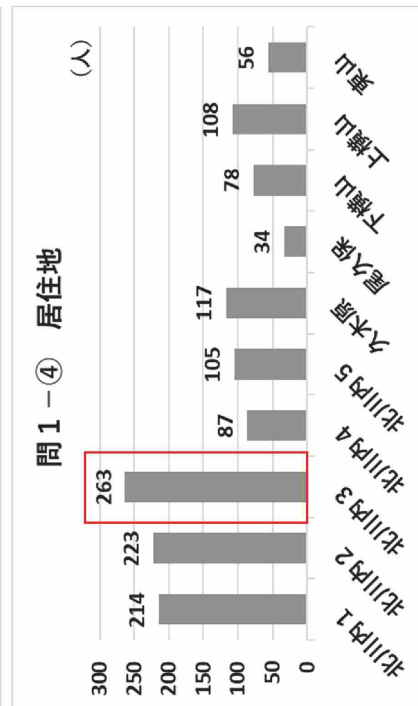
③家族構成

家族構成は、親子同居（二世代）が5人、16人41%、「夫婦二人暮らし」が400人32%、「親と子と孫（三世代）」が155人、12%、「一人暮らし」が144人11%であった。



④居住地（まちづくり協議会支部）

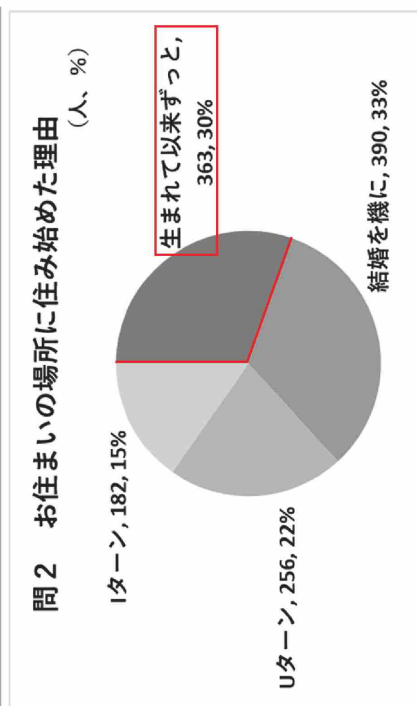
現在居住している場所のまちづくり協議会の支部は「北川内第3支部」が263人で最多、回答率も74.72%と一番高い回答率であった。



問2. 現在お住まいの場所に住み始めた理由

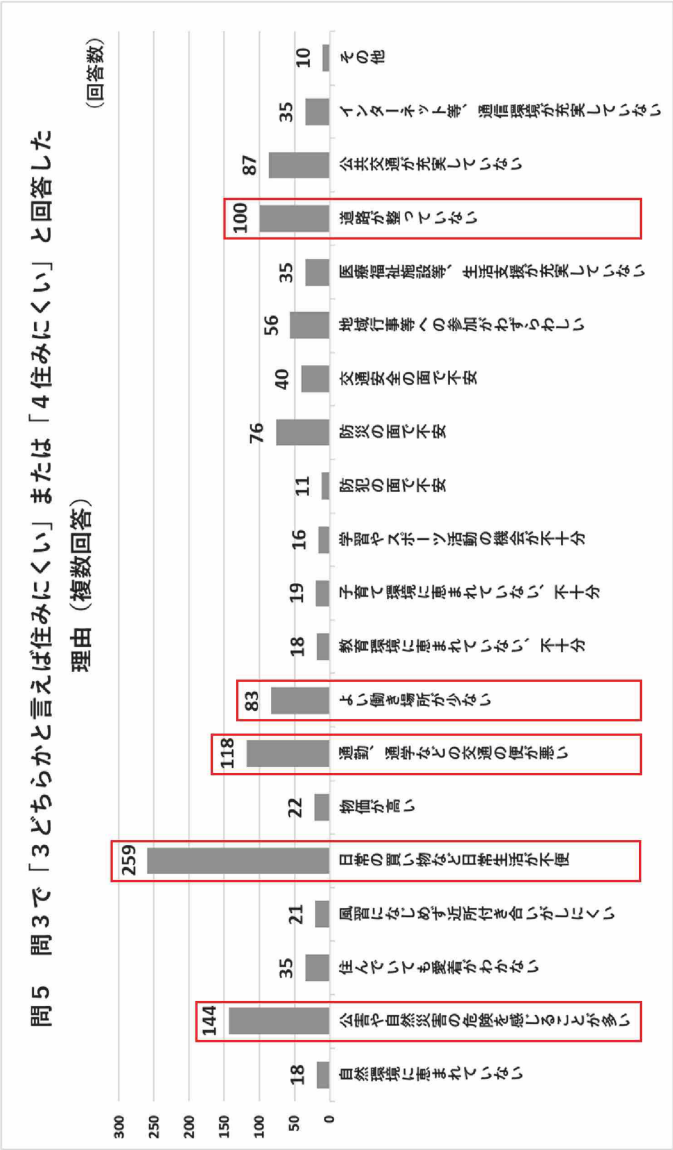
現在お住いの場所は「結婚を機に」住み始めた方が390人33%、「生まれて以来ずっと」住んでいる方が363人30%。

また、一度は外に出られた「U ターン」が256人 22%、外から転入された「ターン」が182人 15%、「結婚を機に」を合わせると70%が生まれた場所以外に住んだ経験があるとの結果であった。



問5．現在お住まいの場所が住みにくい理由

現在お住まいの場所が「どちらかと言えば住みにくい」と回答された方にその理由をお聞きする設問では、「日常の買い物など日常生活が不便」259回答、「公害や自然災害の危険を感じる人が多い」144 回答、「通勤、通学などの交通の便が悪い」118 回答、「道路が整っていない」100 回答、「よい働き場が少ない」83 回答であった。

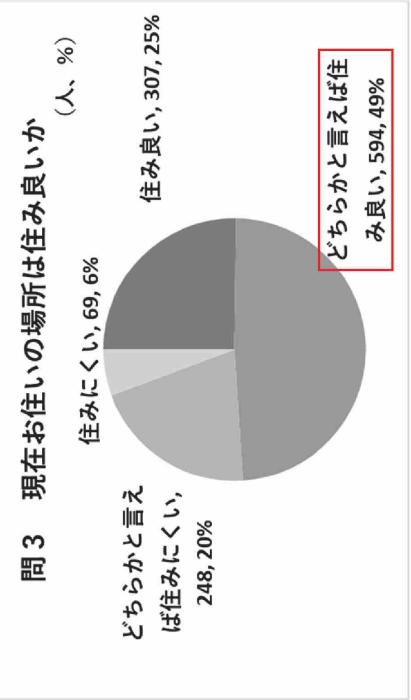


自由解答

- 道路
 - ・歩道が整備されてない(同様の回答:2)
 - ・まちなかが高齢者には通行しにくい
- 交通
 - ・交通の便が悪い
 - ・福祉タクシーを社会福祉協議会で運行してはどうか
- 買い物、通勤等
 - ・スーパーが無く、仕事場も遠い
- 災害
 - ・土砂崩れなど災害からの復旧が遅い(同様の回答:2)
- 少子高齢化
 - ・少子化、高齢化で将来が不安
- 地域活動、近隣関係等
 - ・同世代の者がいなく相談相手がいらない
 - ・高齢者が多くて、昔のいろいろな行事も少ない(合併してから)
 - ・何かと面倒くさい事が多すぎる
 - ・共有の考えが少な、自分さえが多い
- 空き家対策
 - ・空き家が放置状態で防犯や生活の面で不安
- 自然環境
 - ・夏場に住みたくない、暑さがきびしい(同様の回答:3)

問3．現在お住まいの場所は住み良いか

現在お住まいの場所が「住み良いか」どうかの設問では、「どちらかと言えば住み良い」が594人 49%、「住み良い」が307人 25%であり、合計すると74%の方が住み良いと感じている状況。



問4．現在お住まいの場所が住み良い理由

現在お住まいの場所が「住み良い」もしくは「どちらかと言えば住み良い」と回答された方にその理由をお聞きする設問では、「自然環境に恵まれている」が663 回答、「住み慣れて愛着がある」が555回答、「人情があり近所づきあいがしやすい」が351 回答と多かった。

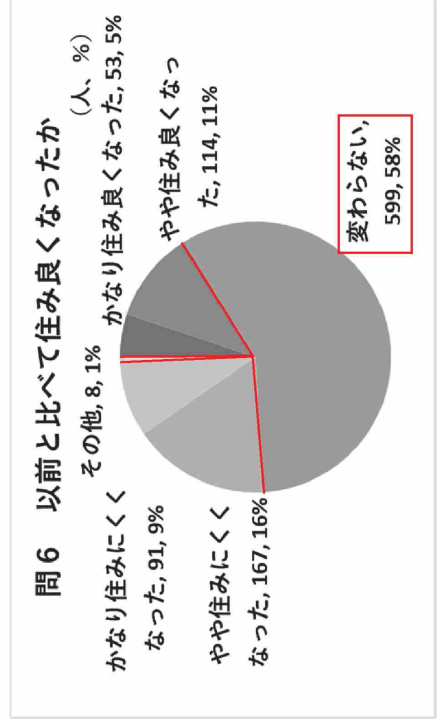
少ない回答は「公共交通が充実している」5 回答、「学習やスポーツ活動の機会が充実している」5 回答、「教育環境に恵まれている、充実している」が7 回答であった。



自由解答

- 良い理由
 - 自然環境
 - ・気候変動がひどくなり田舎の方が野菜が育つ
 - 行事、地域活動
 - ・地区の行事が少ない、近隣の過干渉がない
 - 良くない理由
 - 居住環境
 - ・住みにくい
 - 道路
 - ・生活道が狭い、整備が不十分(同様の回答:2)
- 公共交通等
 - ・交通面で不便
 - ・自動車に乗れる時まで
- 災害
 - ・水害で車が水没し、足がなくなった
 - ・水害でいやになった(同様の回答:2)
- 買い物、通院等
 - ・店がないので買い物等不便、車運転できないので行くところがない(同様の回答:3)
 - ・金融機関、病院が近くにない

問6．現在お住まいの場所は以前と比べて住み良いまちになったか

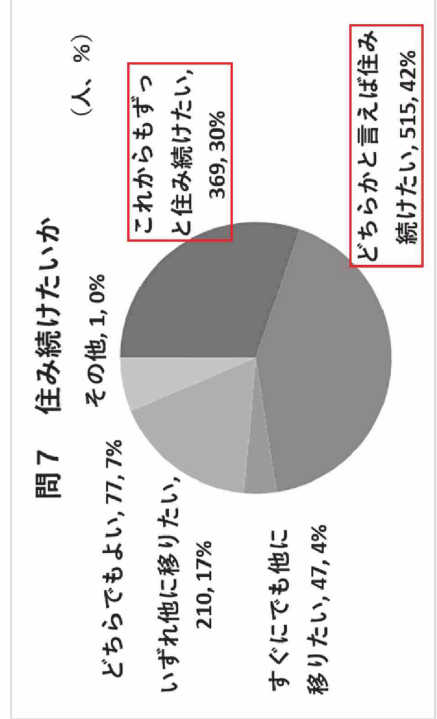


「住みにくくなった」との回答が、「住みやすくなった」との回答を上回る結果となった。

自由解答

- 道路整備、交通環境
 - ・若い人が移住してしまう
 - ・若い人が少なく、年よりが多く不安
- 自然環境
 - ・自然の良さ、住みやすい
- 近隣関係、地域活動
 - ・近くのひととの交流の機会が少ない
 - ・となりの家のけむりが家の中に入ってくる様になった
- わからない
 - ・居住年数が少なくてわからない
 - ・覚えていない
- 災害
 - ・災害が増えた
- 少子高齢化
 - ・高齢化により人口が減っている

問7．現在お住まいの場所に住み続けたいか



「住み続けたい」との回答が「移りたい」を大きく上回る結果となった。

自由解答

- 不便、不安
 - ・日常生活等、色々な面で不便を感じる、便利などころに移りたい(同様の回答:9)
 - ・子育てには良いが
 - ・高齢になると不便(同様の回答:3)
 - ・年をとってからの生活に不安、住み続ける理由もない
- 交通、道路
 - 公共交通
 - ・交通の便が良い所、JRもしくは西鉄電車の近くに移りたい(同様の回答:6)
 - ・年をとったら通院、買い物等を考えると、公共の交通が整っていない(同様の回答:3)

○車の運転が心配

- ・冬は雪の為大変、病院が車なしで行ける所
- ・車の運転が難しくなった時に不便(同様の回答:5)

○道路事情

- ・高齢者が住みやすい道路事情のよい場所(同様の回答:2)

●買い物、通院、通勤、通学等

- ・もう少しコンパクトに何でも近い、充実した場所の方が良い(同様の回答:2)

○買い物

- ・車で行かなくても近くにお店、スーパーがあるところに住みたい(同様の回答:13)

○通院

- ・病院をえらべないので、病院に近いところ(同様の回答:13)

○通勤の便

- ・職場に近いところ、通勤が便利なところに住みたい(同様の回答:6)
- ・働く場所があるところ

○通学の便

- ・高校が遠い(同様の回答:2)
- ・子供の教育、生活(友達づくり)に適したところ
- ・市内に出るのもちよと遠い

●進学就職のため転出

- ・進学、就職のため転出する(同様の回答:2)

●災害、安全安心

- ・災害の少ない所が良い、水害にて住めなくなった(同様の回答:11)
- ・防災の不安(同様の回答:2)
- ・道路整備が充実していないので災害時が不安
- ・安心安全の問題

●その他

- ・別荘

・田舎すぎる

- ・八女市は市内と山間地域の温度差がある
- ・近所つきあいがない、行事もない場所に移りたい

●家族や知り合いを頼りに移りたい

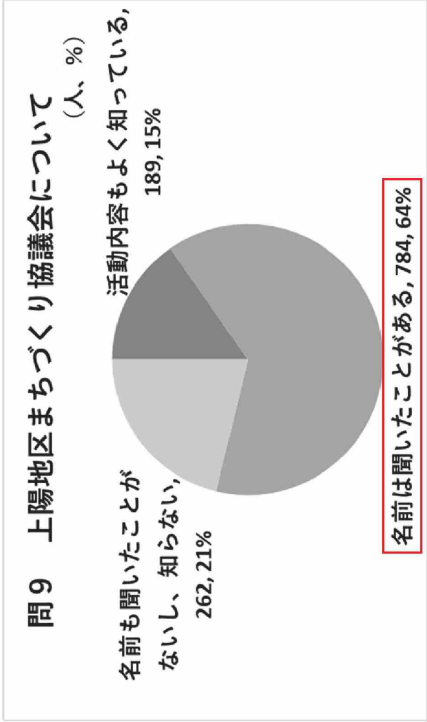
- ・病気による不安もあり、子供達の近くか兄姉の近くに(同様の回答:4)
- ・実家に兄姉がいる為(同様の回答:3)
- ・1人暮らしだから
- ・知り合いのいる所

●移りたい場所等

- 福岡市
 - ・実家が福岡市
- 久留米
 - ・久留米市職場が近いから(同様の回答:2)
- 熊本
 - ・老後は子供の所(熊本)
- 八女市内
 - ・市内の中心地、市内の方が安心(同様の回答:2)
- 都会
 - ・都会がよい
- 施設
 - ・高齢になったら施設(同様の回答:2)
- 家を建てる、持家に住む、家が古い
 - ・借家でなく持家に住みたい(同様の回答:2)
 - ・家が古いため
- どこでも良い
 - ・どこでも良い(同様の回答:2)
- その他
 - ・自分の人生設計のため
 - ・一人暮らしと住人の居ない家ばかり
 - ・山間部集落のため
 - ・防犯の意識がやすい

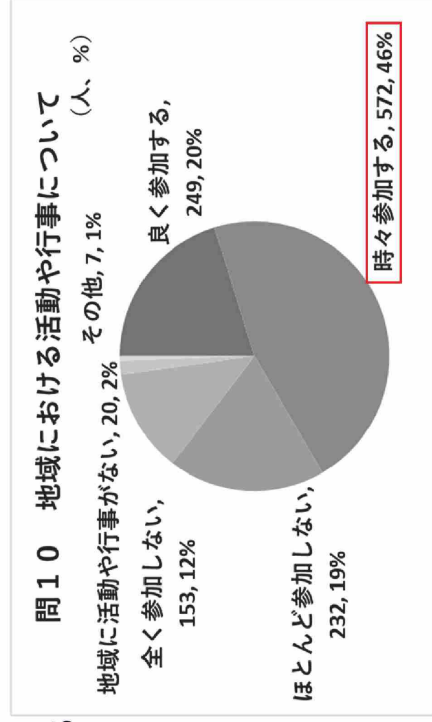
問9. 上陽地区まちづくり協議会を知っているか

本計画の策定主体である「上陽地区まちづくり協議会」の認知度をお聞きする設問では、「名前は聞いたことがある」784人64%、「名前も聞いたことがないし、知らない」21%、「活動内



問10. 地域の活動や行事に参加しているか

地域の活動に参加しているかどうかをお聞きする設問では、「時々参加する」が72人46%、「よく参加する」が249人20%、「ほとんど参加しない」が232人19%となっている。



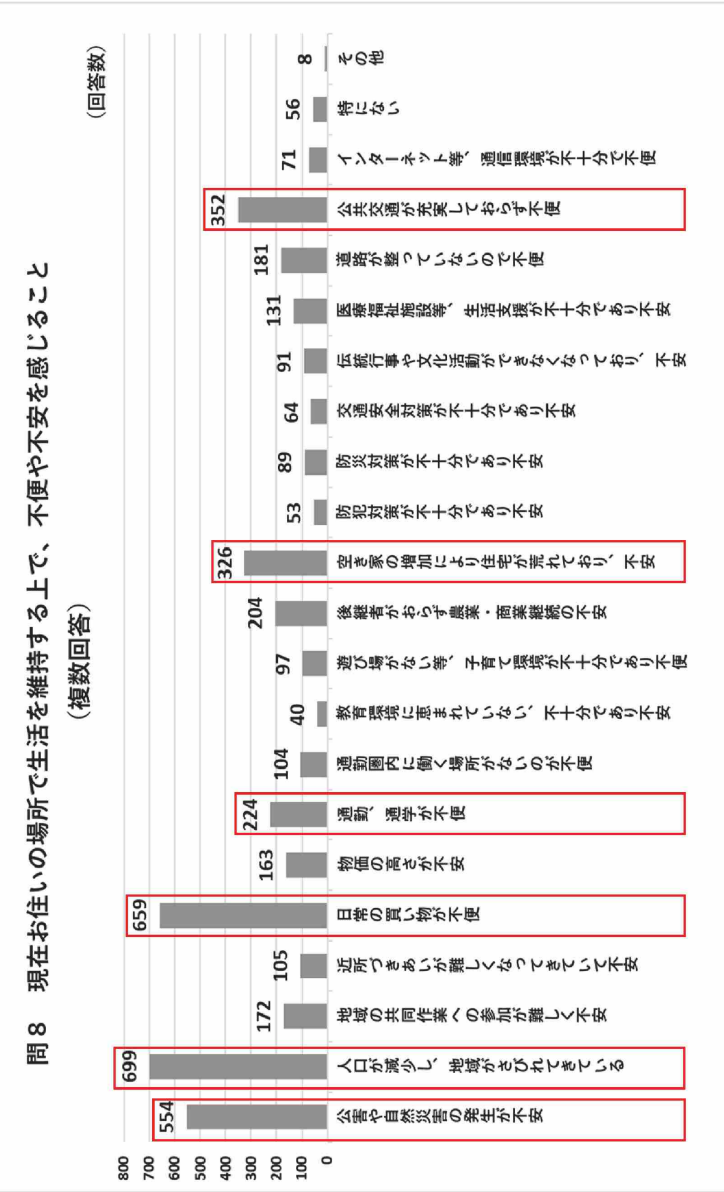
自由解答

- 参加できない
 - ・病氣、高齢で参加できない(同様の回答:8)
 - ・家族が参加している
- できる範囲で参加している
 - ・日曜は仕事の場合もあるので出来る範囲で
 - ・町内の道路愛護、公民かん掃除は参加している

- ・参加しなければ高齢者ばかりで区が成り立たない
- ・体がついていない高齢だから時々しか参加出来ない
- ・行事はあまりない。道路草取りなどは出来なくなっている
- ・参加しなければいけないものだけ、嫌だけど参加

問8. 現在お住まいの場所で生活を維持する上で不便や不安を感じる

現在お住まいの場所で生活を維持することをお聞きする設問では、「人口が減少し、地域がさびれてきている」が699回答、「日常の買い物が不便」が659回答、「公害や自然災害が不安」が554回答、「公共交通が充実しておらず不便」が352回答、「空き家の増加により住宅が荒れており、不安」が326、「通勤通学が不便」224 回答となっている。



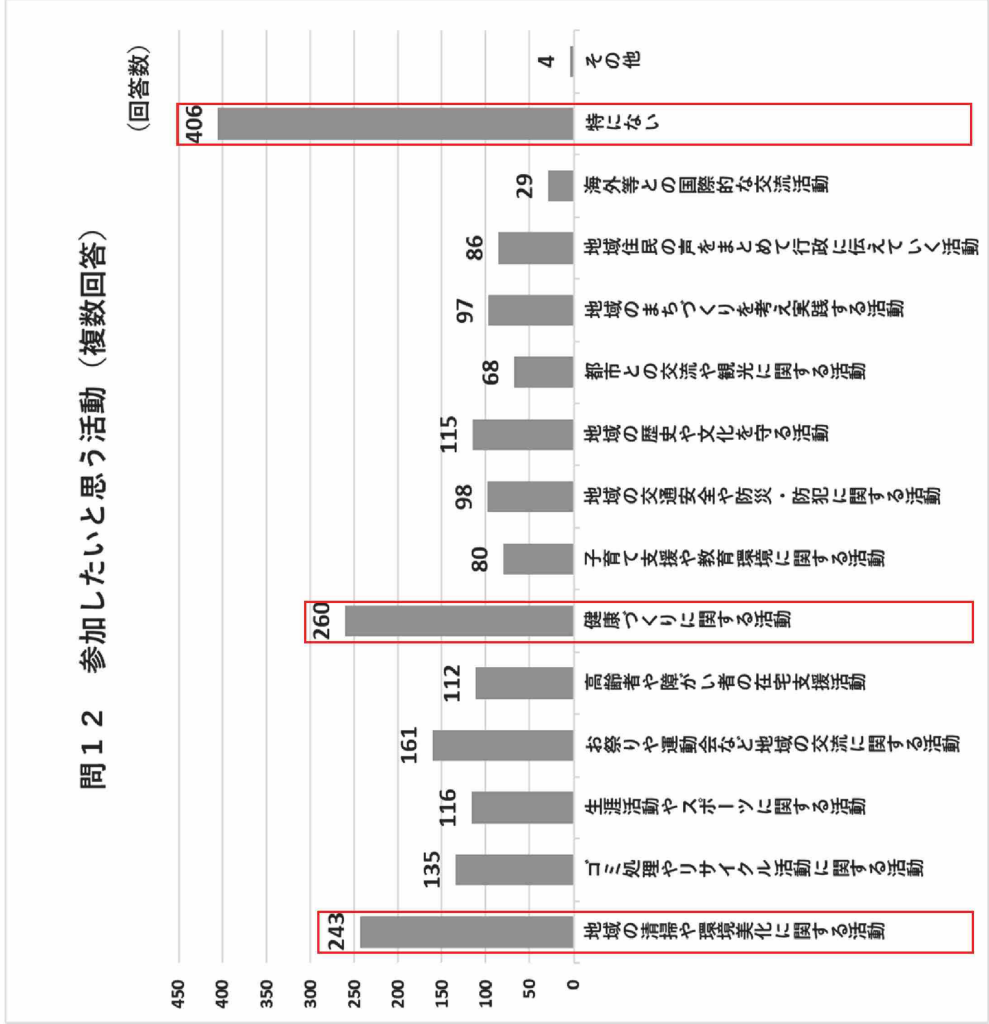
自由解答

- 道路等
 - ・大雨の災害以降、アスファルトに亀裂や陥没があり、危険。タイヤが破損した(北川内1)
 - ・家の前の道路車が多すぎる(北川内2)
 - ・道路が狭く大型車の離合しにくい為、家の玄関前で離合の状況(北川内3)
 - ・40 km規制から 60 kmへ、キケン(北川内3)
 - ・災害などで主要道路が封鎖された折の迂回路を整備してほしい(久木原)
- 街灯、防犯灯
 - ・道路の照明がなく夜外に出る事が出来ない(ウォーキング etc) (北川内1)
- 災害
 - ・土砂災害の不安(北川内5)
- 近隣関係、地域活動
 - ・近所がうるさい においが迷惑(北川内2)
 - ・年々人口が減り、地域の役職・出事が増大し、仕事との両立が難しくなっている(東山)

- 祭り等賑わいがなくなった
 - ・祇園祭の時の花火大会、出店等なくなってしまいい(北川内2)
- 防犯
 - ・防犯カメラを市で設置してほしい(北川内2)
- 飲食等
 - ・大人が楽しめる場が少ない。食堂、居酒屋、カフェ、カラオケ等(北川内3)
- 獣害
 - ・近所でイノシシが出ており、被害が多い、不安(北川内1、同様の回答:2)
- 自然環境
 - ・家の裏が山などでこわい(北川内3)
- 生活環境等
 - ・老後(下横山)
 - ・空き地の雑草が迷惑(北川内1)

問1 2. あなたが参加したいと思う活動

参加したいと思う活動をお聞きする設問では、「特にない」が406回答、「健康づくりに関する活動」260回答、「地域の清掃や環境美化に関する活動」243 回答となっている。

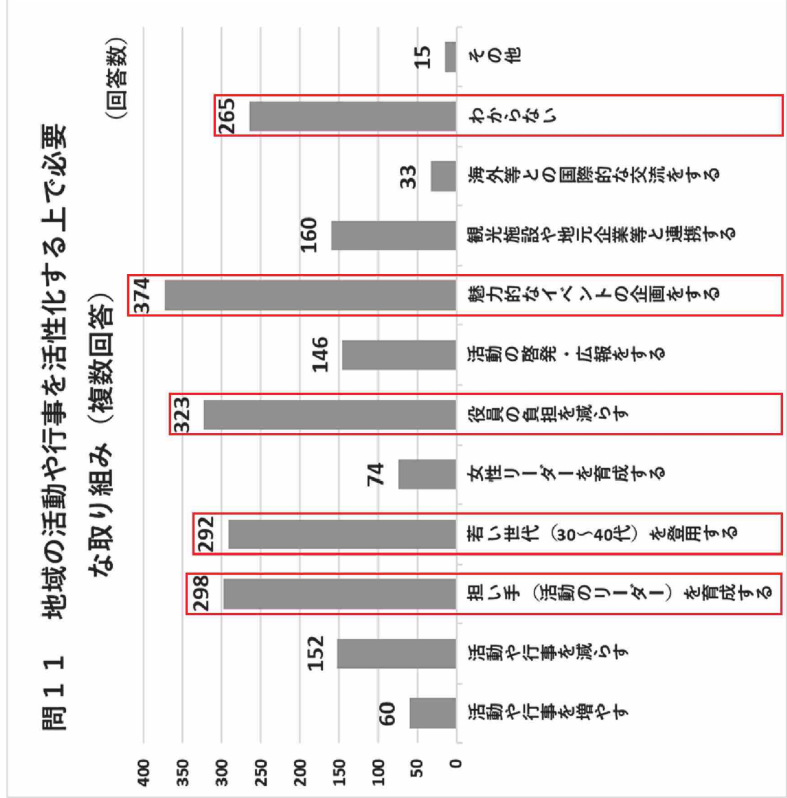


自由解答

- 現状でよい
- 現状で良いです
- 参加できない
- 病气、高齢で参加できない(同様の回答:6)
- 仕事、趣味の為参加しにくい(同様の回答:3)
- 具体的アイデア
- 林業や山を身近に感じる活動 田舎ならではの遊びを発展させる活動
- 景観の荒廃を清掃する活動があれば参加する

問1 1. 地域の活動や行事を活性化する方法は何か

地域の活動を活性化する方法では、必要な取り組みをお聞きする設問では、「魅力的なイベントの企画をする」374回答、「役員の負担を減らす」323回答、「担い手(活動のリーダー)を育成する」298回答、「若い世代(30～40代)を登用する」292回答、「わからない」265回答との結果となった。



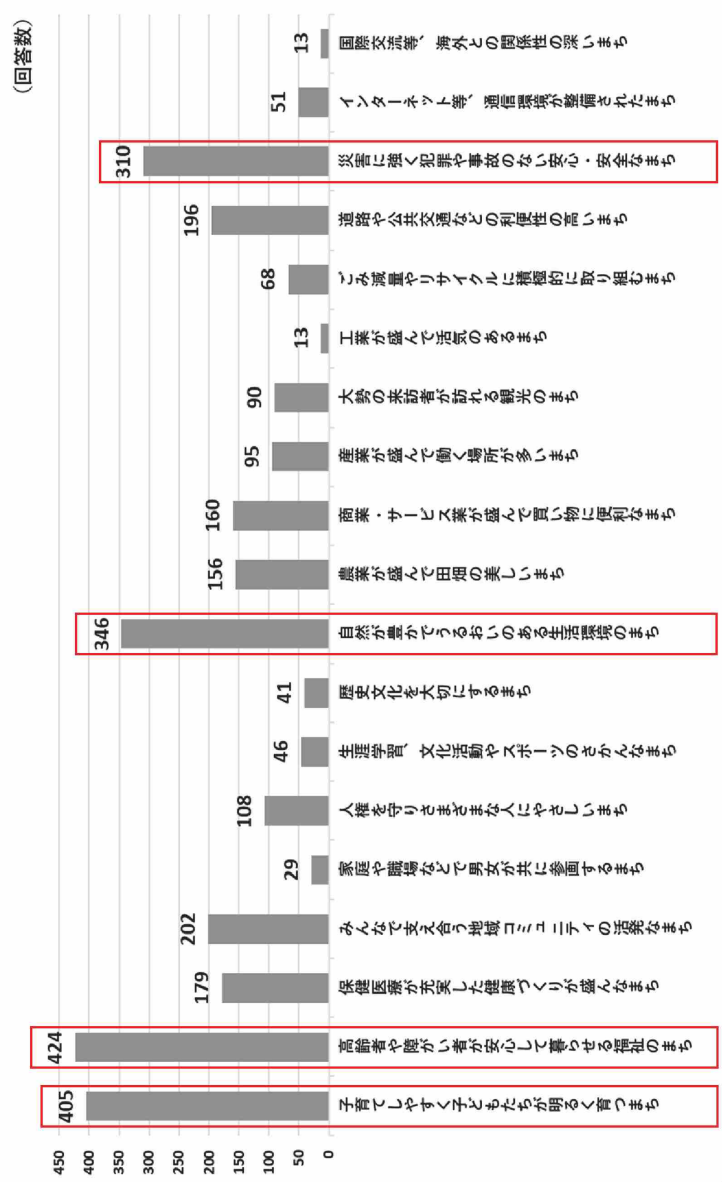
自由解答

- 意見聞く
- 若者、よそ者、馬鹿者の意見に耳を傾けてみる
- 若い世代の移住、関係人口増加
- 若い世代の増加、移住(同様の回答:7)
- 上陽町に住む人を増やす
- 子育て環境の充実
- 子育て世帯が生活しやすい環境整備
- 川、土地、子供達のためにもっと活用すべき!!大人の利益はいらない
- 若い人が住めるマンションを建てる
- 関係人口の増加策
- 通だけの町じゃなく、よその人たちにもっと来てもらえる様に
- 夏の川遊びの来場者を上陽町集客として利益につなげる
- 地域外へのアピール
- 参加しやすい組織、活動、組織の改編
- 土地に根付いた伝統行事
- 保守的にならず、新しい事も取り入れていく
- 古い人間から新しい人間にバトンを渡す時代
- 地域の現状に合った行事内容に変えて行く
- 企画・運営に住民が参加しやすい行事にする
- なるべく大きな組織を作り、活動できる人数を増やし、後々の町のリーダーを育成する。
- 75歳以上の方が役員をされて若い人の出るまく
- 目的、意識、交流、信頼関係
- 空き家等の改善
- 遊休施設や空き家の早期活用
- 住んでいない家を町に譲渡する(あき家バンク)
- 施設の整備、産直品の開発など
- 特産品等あつち小豆道の駅
- 県道沿いに駐車スペースが十分ある。道の駅を作って野菜、肉、スイーツを販売する。
- 行政区内に設備の整った加工場を作り、区内で特産品作りや交流・販売につながる活動ができるようにする
- 産直品の開発を行う
- 環境整備事業
- 環境整備事業(専門家による開発)
- 高齢のため参加が難しい
- 高齢のためか
- 高齢のため参加が無理、高齢者が多く参加意欲が少々ひかえめ(同様の回答:3)
- 活性化の必要なし
- 地域の活動や行事を活性化する必要はない、誰でも参加できるものが必要か(同様の回答:4)
- その他
- 1～12まで質問がピンとこない

問1 4. 将来の上陽地区（上陽地区全体）をどのようなまちにしたいか

将来の上陽地区をどのようなまちにしたいかをお聞きする設問では、「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」が424回答、「子育てしやすく子供たちが明るく育つまち」が405 回答、「自然が豊かなでうるおいのある生活環境のまち」が346回答、「災害に強く犯罪や事故のない安全・安心なまち」が 310 回答となっている。

問 1 4 将来の上陽地区（上陽地区全体）をどのようなまちにしたいか（複数回答）



自由解答

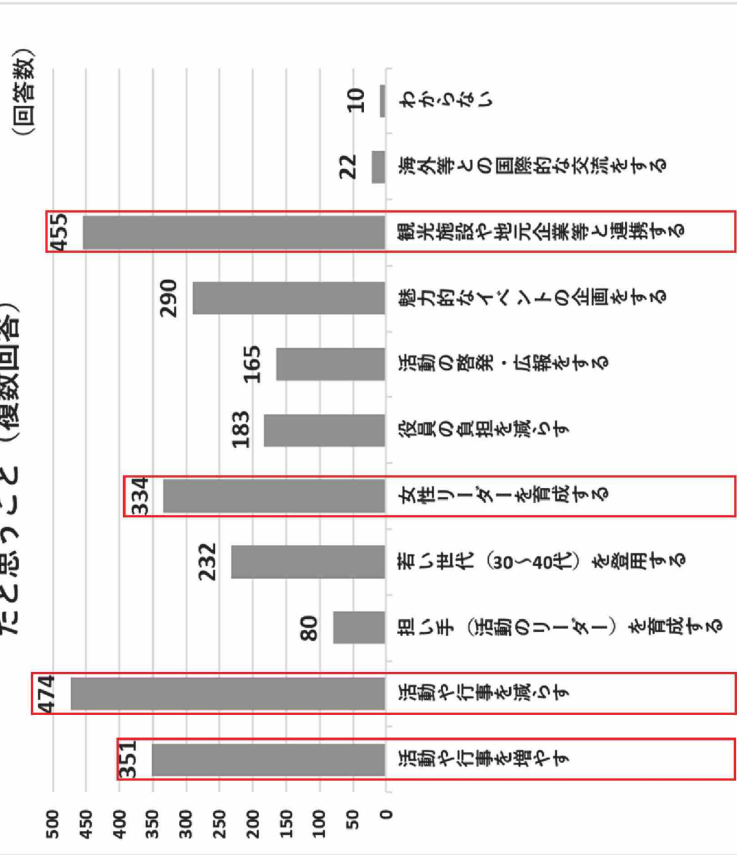
- 子供から高齢者までみんなが楽しく安心して暮らせる町
 - ・老若男女、しよがい者が、健康者が笑顔で暮らせ、あいきづができ、生き生きとしたまちになったら嬉しい(同様の回答:20)
 - ・普段の生活があたり前と感じる環境の整備
 - ・家族の温かさのあるまち
- 住みたいと思えるまち
 - ・上陽以外からも人が集まり、自然豊かで、上陽に住みたい、好きと思う人が増えるまちづくりをしてほしい(同様の回答:4)
 - ・子供たちが大きくなって住みたいと思えるまちにしていきたい
 - ・生まれ育った町なので大好き
 - ・外部をとりこんで、へたに有名になろうとしない様なまちが良いです。地にあしのついた生活が送れるまちが理想です。
- 明るい未来、活気あるまち
 - ・活気のあるまちになると良い
 - ・地域全体がひとつの目標(夢)に向かって協力して一致団結していけるような、明るい未来が展望で

問1 3. 上陽地区（上陽地区全体）にとって重要だと思うことは何か

上陽地区全体にとって重要だと思うことをお聞きする設問では、「活動や行事を減らす」が474 回答、「観光施設や地元企業と連携する」が455 回答、「活動や行事を増やす」が351 回答、「女性リーダーを育成する」が334 回答との結果であった。

問 1 3 上陽地区（上陽地区全体）にとって重要

だと思うこと（複数回答）



自由解答

- 空き家問題
 - ・空き家問題、空き地問題、何とか考えてほしい(同様の回答:3)
 - 住宅施策
 - ・若い人が住めるマンションを作る又は安い賃貸、住む人を増やす。
 - 生活環境
 - ・不法投棄が無くなれば良い
 - わからない
 - ・わからない(同様の回答:4)
 - その他
 - ・地域が衰退していくと思う
 - ・市長、議員さん達によりよい住みやすい場所にしてほしい
- 交通対策
 - ・交通手段
 - ・久木原地区にもスクールバスを出してほしい
 - ・高齢になると移動に車、自転車、歩行でも怖い(危険)
 - 道路管理
 - ・道路愛護(これから高齢化による負担が大きくなる)の業者委託
 - 買い物対策
 - ・買物環境の充実(同様の回答:2)
 - 災害対策
 - ・災害対策(同様の回答:4)

- 道路整備等
 - ・何よりも道路整備。20 年～30 年も道路問題が遅れている。道幅が広がると良い(同様の回答:3)
 - ・県道を住民が管理するのはおかしくないか！！？
 - ・健康で住み続ける為に歩ける環境を希望。歩道(車道に沿った)が少ないので散歩ができない
- 住宅施策
 - ・上陽町に住んでみたいが、若者夫婦の家族等が住める賃貸がない(同様の回答:2)
 - ・マンションが必要、下水道の整備
- 福祉の充実
 - ・高齢化の町にとって福祉を充実させてほしい
 - ・住みやすい町として高齢者・障害者等にやさしく
- 自然環境保全、景観保全
 - ・美しい里山や川、自然を守りたい(同様の回答:3)
 - ・川であそぶ時のマナーがない(ゴミをもちかえるなど)
 - ・黒木線沿い周辺の耕作放棄地(特に打越)が増加しており、景観が悪化している
 - ・自然の豊かな清流をベースとして観光、地域の歴史・文化で人が多く集い、活性化・活気のある町
- 獣害をなくする
 - ・獣の被害の無いまちづくり
- 田畑が荒れている
 - ・高齢者が多くなり田や畑が荒れている
- 無駄のないまちづくり
 - ・ムリ、ムダのないまちづくり 山の中の橋などムダでしかない
 - ・昔ながらのしきたりに若者がついていけないに人口減少の原因ともなっているので、ムダな事を減らし、時代にそって考えを変えろべき
- 別荘地
 - ・遊休土地を最大限活用して別荘地を開発・開拓し売り出す企画をしたらどうかと思う。人口減少に歯止めが出来るきっかけとなれば
- その他
 - ・消滅地域からの脱出の突破口を見つけることが出来ない
 - ・問 14 で設定している項目が多く実践できること！
 - ・異常気象で食料が不足する時が来るのではと案じている。日本は夏と冬の時期が長く春と秋は短かくなるとの事。熱波の為、今の野菜も痛みやすい。お腹がすくと人はイライラして争い事が起こる。荒れた農地を復活させ食料を確保する時かも知れないと思っている
 - ・無税の実現
- わからない
 - ・他の市より転入したばかりで良くわからない(同様の回答:2)

- ・少子化対策(同様の回答:2)
- 災害や事故の無い安全安心なまち
 - ・災害等に強く、犯罪や事故のない安心・安全な町にしたい(同様の回答:4)
- 高齢化しても孤立せず安心して生活できるまち。
 - ・生活利便性を高くする
 - ・交通便がよく、食べ物も新しくおいしく、物があり、毎日楽しく過ごせる町であります様に！！ガンパロー
 - ・商業 サービス業が盛んで買物等が便利な町。災害に強く安心安全な町づくり 道路や交通の利便性の高い町づくり
 - ・仕事や買い物、通院など生活していく上でもっと便利になってほしい(同様の回答:2)

○公共交通の利便性

- ・市内への交通手段の問題をを考えてほしい。例えば公立、川崎病院等、直行便を運行するように。ふる里タクシーのみでは通院に不便。若い私達は車があるので良いが、免許証を持っていない方は困っている。タクシー業者等、他の業者とのかみあいもあると思いますが、実際にアンケートに何度と書いていますが、上陽町を住みよい町にするには病院、買物の移動手段を考えてあげないと、遠方に住んである子供さんたちが週末や休みをとり、同伴している現状
- ・市や町独自のバスやジャンボタクシーなどが山間部にも 1 日 10 便近く運行する環境

○買い物、通勤、通院等の利便性

- ・年をとって車に乗らなくても買い物ができるまち(小さい店でも良いので2～3店)(同様の回答:8)
- ・引越してきたとき、コンビニ一つもない所には…と言う声をよく聞きました。女性が生活しやすいと思えたら外部からの人口増えるのでは
- ・スーパー、道の駅が欲しい(セブンイレブンは助かっている)

●企業誘致、雇用

- ・水、土地を活用して企業を誘致し、働く場所の確保
- ・様々な働く事のできる環境を整えて欲しい。物価やガソリン代等も激しく高騰して、本当にどうにかして頂きたい
- ・若い人が出ないように、この土地で働けて生活が出来る様な店や産業や工業があれば良い(同様の回答:7)
- ・働く場所産業が少なく給料の面でも平均値が上がれば若い人材が来てもらえる様な町

●地域資源の活用

- ・地域資源を循環させながら人がつながり、育ち、継いでいくように地域を経営していくことが大切。その流れを作るポンプ・の役割をお金が担うので、それらのバランスも重要
- ・地場産業で地域が活性化していけるまち

●観光、交流人口

- ・観光等、外から来る人が楽しめる、関係人口の創出、上陽の情報を発信する(同様の回答:8)
- ・観光資源が少なく、星野へ行く道の通りすぎの町なので、ので、市外から来る人が立ち止まる場所(同様の回答:4)

- このままが良い
 - ・静かな町が良い、発展しなくても良い
- 道路整備、管理
 - ・道路の整備が 1 番(同様の回答:11)
 - ・主要幹線道路(県道)が狭い。拡幅・改良、バイパスを要望(同様の回答:5)
 - ・まちづくりをする前に、もっと道路の整備をしてもらいたい。20 年前位とほとんど変わっていない
 - ・道路整備を早くして若い人達が訪れる町にしたい
- 歩行者空間の確保
 - ・歩道や自転車車の通路の確保、山内～柴尾間は、上記通路があっても、草が生い茂り、夜間は暗い
 - ・歩道自転車車の整備(同様の回答:5)
 - ・自転車通学時に道路が狭いのには車がとばし危ない
 - ・星野→浮羽のトンネルが作られた為か、昔に比べ車が増えた。バイパスは歩道があるが本通りは少ない。歩行者と車の事故が心配。歩道整備で歩ける環境が必要
 - ・1歳の子供が居るが、轟地区は道路が狭く、大型トラックも多く走り、ベビーカーでの外出が怖い。小さな子供でも安全に道路を行き来出来る歩道整備や、道路が拡幅されると安心して子育てが出来る
 - ・北川内地域の県道は大型中、小型のトラック、乗用車バイク等が数多く行き交うが、歩道制限の標識は向の黄線を越えて走って来る。速度制限の標識はなしで時 70K を越しても違反なし。真名子～上名まで速度を落とした標識を出してほしい

- ・地域的にも道に沿った狭い地形なので、他地域やよそからの情報も入りにくく、考え方なども固まってしまいがち、外の(他地域や町村)との交流などで、広い視野が持てるようになっしてほしい
- 施設活用、施設整備
 - ・星野川を観光の中心として、施設整備やそこで働く人が増える事で、人の集まりにぎやかさが増える
 - ・大きな道の駅があり、車やバイクが駐車できるスペースもあって、上陽の特産品を販売
 - ・ほたと石橋の館をもっと活用すべく、道からわかりやすくするため、オーブンスペースを設けて車、歩行者から見えやすくした方が良い
 - ・ホテルと石橋の里公園にもう一度つり橋の新設を
 - ・憩いの場・集える場が欲しい(例:筑後広域公園、べんがら村など)、子ども～お年寄りまで利用できる施設
 - ・温泉やプール、バンガロー、キャンプ、グランピングなど、観光客で賑わうまち(同様の回答:2)
 - ・過疎化がひどく空家ばかりになり、豊かではなくなつたが、昔の生活が良かったという人が多い。しかしそれでは町が発展しないので、人が集まる観光施設等を作る
- 近隣住民との交流
 - ・適度な距離で近所つき合いが、気楽に出来る。助け合い、もちつもたれつ、持続、維持、継続(同様の回答:6)
 - ・男だからとか女だからとかなど役柄に捉われず、個人が生き活きとやりたい事にトライできるまち
 - ・近隣との交流を朝(日曜日)ラジオ体操を組むとする場所を作る
 - ・皆住民が仲良く個人の悪口を言わず出来ない人は気軽に人にお願い出来る共生の力
- 地域活動、イベント
 - ・気軽に参加できるイベント
 - ・人口減少の中、負担大で小さな行政区は疲弊する取り組みではなく、各行政区毎にやりたい取り組みを提案してもらい、それに対して助成をし、報告してもらう(同様の回答:3)
 - ・休耕田復活計画などはぜひやりたいやめるべき。大変、持続できない！
 - ・ゴミ拾いや除草剤を減らす
 - ・仕事と活動は時間的に無理
- 以前の上陽町での活動
 - ・自分が若い世代のころは、バケツに水を入れてガードレールをみがいておりました。年になり、自分が歩くのがやっとなりました
 - 協議会運営について
 - ・役員(進行)を 3 年位で交代する
 - ・役員を役場の OB、教職員 OB などで固めないで、もっと若人带着いろいろな意見を持ってほしい
 - ・白みの考えを持っている人を入れてほしい
 - ・地域の人達にもっと声かけほしい、大部分の人は何を行っているのか分からない
 - ・講演会を増やしてほしい
- 女性の活躍
 - ・女性の声をもっと取り入れた行政であってほしい
 - ・働く場が多い街作り
 - ・女性がリーダー

○子育て施策、子育て施設

- 公園や雨でも遊べる室内遊具がある施設等できたら子育て世帯はとても助かる。少子化の中でいかに子供達の事を考え、よりよい町づくりしていくか楽しみ(同様の回答:2)
- まず、若い世代や子供が多い町にならないと語に成らない。町の方では区の会計より子供会の補助金が出るのにこちらでは老人会への補助金はあるも子供会の補助金はない！！こちらに来て最初にビックリしました。子供がいない町は活気がない
- 子育て世帯を優遇(無理のない範囲で)
- 春の山等には遊具があるが、あんな場所で安心して子供達が遊べるわけがない。錆びているしイノシシが出て、防犯的にも心配。平地、公民館周辺、学校の校庭等を年齢関係なく集まったり、遊んだり出来るようになってほしい。(同様の回答:4)
- 川に遊びに来る方の為に安全な場所を作り、出店の方に来てもらい出店料で町の活性化につなげていくのではないのではないかと
- 子供たちがバスケットボール等できるようにバスケットを置くのもありだと思う
- 子供が多くなるよう、みんなで支え合う
- 若い人が残るような、活気ある町で美しい自然を生かした子供達が楽しく1日過ごせるように

○教育施策

- 上陽町は、学校などの教育環境はとても良いのでそれを活かした施策やイベントをしても良い
- 小中学生が少なくなっている。町外から来てくれる魅力ある学校にし、子供を増やす、親達も上陽へ足を運ぶ様になり活気ある町にして行くべき
- 次世代に出て行く必要の無いと感じる事の出来る教育と環境の整備

○福祉施策

- 少子高齢化はどうしようもないが、子どもから高齢者まで安心して暮らせる町になるよう行政・福祉で努力してもらう。地域(隣組・自治会・校区)が楽しく生活できるよう、住民が協力する。続けてきた生活・習慣で変えなければいけないことは変える
- 高齢者、障害者等に宅配健康弁当の組織が必要
- 健康を考ええた健康診断と食生活指導の充実化

●不便の解消

- 車がないと生活できない、買い物不便、通学が不便、バスの本数が少ない。公共交通が充実しておらずとても不便、子どもたちはほとんど外へ出て行くいっぽう。何が良いかわからない

○買い物、飲食店、通院、通勤

- 今は、車を利用し、買い物・医療等、不便なことなくできるが、将来運転をしなくなった時に、交通の不便さ、町内だけの買い物物だけでは生活ににくい不安を感じている(同様の回答:2)
- 買い物、通勤が心配、不便でない方法を考えてもらいたい(同様の回答:6)
- コンビニやホームセンターはできたが、スーパーがほしい。コンビニは何でも高い(同様の回答:4)
- 上陽町が旧八女市と合併して約13年目、1市3町2村で当時の人口が71164人。その後人口減少で今は7万人を大きく割りこんでいる。生活にかかせない必需品(食料品他)等、十分に供給出

来るマーケット。事業者は採算的には面白くないと思うが上陽町の人口に見合った規模で取り組んでもらい、少しでも生活の支えが出来たらいいのではと思う(同様の回答:2)

- 食堂等、うどんとか定食などを食べに行こうと言うようなお店がほしい(同様の回答:2)
- 農協ガソリンスタンド側に毎週土曜日に地域の方々の手作り品は客が多い。もう少し大きくして誰でも出品できるシステムを作ったら活性化する
- パン屋がほしい
- コーヒーを飲める涼しい場所。
- 薬局がないので大変困っている。1日も早く準備して下さい。魚屋さんもない。洋服屋さんもない
- 足が悪いので移動販売があると助かる

●企業誘致、働く場所の確保、農業の活性化

- 環境自然に合う企業を誘致する体制を作り、若者の仕事を確保する(同様の回答:6)
- 就職する場もなく、子供達も遠方に出て行き活気がなくなっていく(同様の回答:4)
- 農業の活性化をお願いします
- 収入の多いすてきな働く所が近くにあれば空家も出来ず、荒れ地も出来ない
- 生活環境、施設整備
- 打越区の集会場に駐車場が必要(同様の回答:2)
- 分別ゴミのステーションを作してほしい、いつでも利用できる時間にしてほしい。(土日など)
- 高齢一人暮らしは、足が不自由になり、家の中で過ごすことが多くなる。ゴミ出しなど遠くて、持つて運ぶことができなくて困っている

●観光施設整備

- 公共施設(ex.ほたるの館)の企画段階で、住民の希望を集めるべき。市民と来訪者の立ち寄りやすい施設になってほしい。上陽ゆかりの先人ダニエル・建・イノエ氏のミュージアムを充実し新たなイベントを作りあげてほしい(同様の回答:4)
- 年齢を問わず、住む人々が気軽に楽しく集える施設(ベンガラ村のようなもの)中央公民館へ行っても、人の姿が少なく寂しい町のイメージ。若い人が上陽に多く住んで、活気ある町になってほしい
- 浮羽や星野方面に行くとき必ず通るのでその方達を足止めて観光等をできるときにしていきたい
- ほたると石橋の館がなくなったので野菜など近くて買える場所が飯店舗などあったらうれしい
- ほたると石橋の館は入りにくい。敷居が高いと感じます。もっと開口を広げてもらいたい
- 道の駅をつくってほしい

- いろんな施設にもう少し人が集まってくる様に、催し物や、飲食店、物品販売店等作ってもらいたい
- 休日に県道を通る車やバイクはとも多く、県道沿いに立ち寄る場所があって、肉、野菜、スイーツ、などがあれば、「寄ってみよう」と思う人はいる
- 上陽のもポテンシャルを高めて、町の活性化を図る。例えば、北川内公園の整備(河津桜の植樹)、夏期の水泳客、秋・冬期の集客増加を通して人の往来をふやす

●安心安全

- 町に全体の街灯が少ないので、街灯を増やした方が良い。山内のミニストップから上陽方面、黒木から上陽に街灯がほしい(同様の回答:6)

の合併を機に、道を通っていても以前はこんなに雑草や道など伸び放題、荒れ放題ではなかった気がしている。『自然豊か』を維持する為には、こまめな草刈りが基本だとTVを観て思い知った

- ・80才過ぎてちよっと厳しいです。道路愛護、空家周辺の草取り等何とかしてほしい

●災害対策、災害復旧

- 地すべり等の災害工事が不十分(同様の回答:3)
- 上横山、下横山、第5北川内、打越は災害で、いつかすこいことになる。行事より、安全にくらせる町を、まず考えた方が良いのでは、災害が多いと人口も減ってくる(同様の回答:2)
- 災害にあつた橋を架け直す時、現在より高くしたら良い、毎年同じ様に起こるが、どうにかならないか
- ・災害時の非常電源の確保(ハワイ島の火災より)
- ・7月10日の水害で出た川の中の杉は切ってほしい
- ・災害等時 どう行動するか地域で話し合い、手助けが必要な方の把握をする
- ・他地域からたくさんの方が来れることには賛成だが、まずは防災。雨のたびに心配しなくてよいように。次に催しなどで、地域住民の生活が2の次にならないようお願いします。高速まで20分足らず、福岡市までも1~1.5時間(車)で、豊かな自然が多く残る上陽は、魅力的な町だと思う

●魅力的なまちにするには

- 以前上陽町は活気にあふれていたけれど合併になっておちぶれてしまったように思う
- 海外・他県より多くの人が集まる魅力的な町。地域特産物や、観光に力を入れる。(同様の回答:3)
- 上陽町は八女市の中でも特徴がないので魅力を広めるイベントが必要。若いリーダーを育成。SNS、TV(ポソンと一軒家、珍百景、地元ニュース)びびくすること、有名な人。未来の大谷翔平を上陽町から輩出するために、子どもを大切に(部活動、習い事の支援)(同様の回答:4)
- 地域の良さを、特徴をしぼり込み、活性化
- 恵まれた自然環境があるのに、買物や食事などの人が集まる場所が少なく、そういう場所が必要
- 星野に負けない魅力あるまちになってほしい。お肉屋さんや豆腐屋さんだけが有名ではないけない。虫祭の時は人が集まるが、それ以外は人が少ない
- 年々住みにくさを感じる。一人暮らしで、ポソンと一軒家になるその前にあきらめていなくならだけ
- 貧しくとも幸福度は昔の方があり、隣近所の交流も建設的で、地域共同体が機能していた。世代間交流も少なく地域コミュニティの衰退を懸念
- 実際には日本全体の人口減少があるので、大々的な活性化は難しい。特に一次産業従事者が多い地域では、生活するだけで精一杯と思う方が多数。外部の力や一時的な流行りに左右されない、元々上陽地区の人々の持っている大らかさや良い所が残せる町づくりが理想。良い所いっぱいある

●施策、行政の仕組み

- 間14にあることを実践できよう組織(実行委員会等)、予算を組んで欲しい
- 先を見ない企画が多いのではないかと
- 上陽地区として市議会議員を増やす取り組みが必要だ、出来れば、将来を担う若い人が理想
- 難しい町。役場にしても、町の玄関だが暗い、知る

人にしか声。回りは自然の山、なぜかコンクリートでかたい玄関

- ・上陽玄関は「めがね橋」がシンボルでは
- ・高齢者が多い町なので、一人一人の支援の充実が必要。年金だけでは、施設の利用も苦しく、かといって家族がお金を出しあうことも難しい

○移住施策

- ・子どもが少ないので若い人にたくさん移住してもらいたい
- ・八女地域とりわけ八女東部は自然災害もあるが、農林業に対する国県その他団体の取り組みにかかわらず人口流出、地域担い手が減少している。ここに到っては、“人材”確保へ地域アドバイザー、地域おこし協力隊を押し進める。他”Uターン””移住”環境を整備することが急がれる。そのための司令塔としてまちづくり協議会、市役所上陽支所、社協上陽支所、上陽公民館、その他官公庁支署、JAや福祉施設、そして学校等含める「協議団体」「活動機関」が必要。連携から協働へ!!
- ・子ども・高齢者だけでなく、未婚者(單身者)も、移住者全員にサポートが欲しい
- ・子育て世帯の定住化が必要。自然を生かした遊具のある公園の設置、起業者への手厚い助成支援、通信環境整備、買い物に便利である事等、望むものはたくさんある
- ・特に山間部の集落では、高齢化が進み集落としての活動ができなくなり消滅の可能性が高なりつつある。何とか都市に住んでいる人たちに移住していただく策が必要と考える。その為に体験移住などの施設を作ったり、農業の魅力を伝えたり仕事の紹介などの事業をすべき

○住宅施策(空き家対策)

- ・空き家が増えてきており、利活用をすすめるようにできないか？自治会毎に懇談会を開いてみたら良いアイデアが出るのでは(同様の回答:2)
- ・空家は30年前の2/3が空家、空家対策、移住者の誘致

○交通施策

- ・後期高齢者になり車を手放した時、バス路線がないので、病院・買い物・その他出事で不便である事が不安(同様の回答:3)
- ・福岡市内はバス¥100だから上陽も料金を下げてほしい、年齢によって安くして(同様の回答:2)
- ・乗合バスの時間が限られていていざという時困る
- ・堀川バスで通学しているが、帰りのバスが1時間に1本で、本数を増やしてほしい(同様の回答:2)
- ・午後5時以降、車を持ってない人の移動手段がないに等しい。(黒木の川島タクシーは、午後5時で営業終了)
- ・生活環境で自動運転の交通網を作ってほしい

○スクールバス

- ・スクールバスが来ない地域は車の送迎など大変な負担。現状では安心して通学させることができなくて毎日、車で送るがかなり時間的に拘束される
- ・子供が通学時に山道を通るのが怖い、可能であればスクールバス等の検討をしてほしい
- ・高校生の通学の不便さの解消、バスを利用するにしても定期代が高くバイクでは心配
- ・各高校の近くを通る乗り合いバスが必要

等に仕方なく携わってきたというのが正直な感想。特に行事ごとが多く役員ともなると、かなりの負担となる。自然災害・ご近所トラブルもあるよう話を聞くと苦痛になる。若い方々や住民が離れていかないうち魅力ある地域づくりを求めたい・田舎の悪いところが目立つ。青年へ仕事の負担は増える一方。働き続けるためには町内では限界。車を運転できる今だから生活していけるけれど・・・ご近所づき合いが気持ちよく出来る相手の心の痛みを分る人にお互いが助け合える心を持つように心がける

- ・高齢独居になったのでご近所になるべく迷惑にならないように努力している。
- ・高齢化が進み参加したくても出来ないもどかしさ
- ・きれいにすれば毎日が気持ちがいいでしょう。さくらトンネルの中を歩いているとガードレールの汚れがひどくて手でつかめめる事が出来ない。どうかきれいに磨く
- ・ゴミ、チリのない上陽町

○消防団員

・消防団員の減少

●特産品

・上陽町には自然しかない。放置している田や畑に花や樹木を植えて花のきれいな町にしたら良いと思う。県道から見えない田畑にはサトイモやじゃが芋等植えて、芋まんじゅうを作り、真空パックにして冷凍等にして全国に発送する位活気のある町にしてほしいです。8/17 のラジオに荒川まみさんが出ていられるのを岐阜県に住んでいる友人が知らせてくれました。芋まんじゅうの話だったそうです。素朴でみんなに受け入れられると思います

●情報発信

・色々な面においての情報発信力が乏しいと思う

●IoT 等新技術の導入

- ・田舎だからこそ IoT、ICT、カーボンニュートラルに力を入れるべきではないか
- ・八女広報紙のインターネットで連絡、パソコン等の配布を考えてもらいたい

●現状を把握することから

- ・町づくりを考える前に現在の町の様子はどうなっているのか、まわりは空家、荒地で荒れ放題、行政は、何も出来ない。空家条例これで町作りを語れるのか？疑問が生じる。外国人育成要請施設ばかりが目立つ地域になっている。何かおかしい世の中になっていくような気がする

●温暖化の影響

- ・温暖化で特に山間部では生活が困難になっている場所も今後増えると思う。安全な場所に移住できる所を作ってほしい
- ・温暖化が進み、40℃の生活が予想される高冷地の良さを生かした定住促進化に努力してほしい

●アンケートについて

- ・アンケートをするのであれば無駄にはしないで、まちづくり、ただのアンケートなら意味がない
- ・アンケート結果は全世帯に配布してください。自由意見もできる限り集約してください
- ・将来、人口減少に伴いこの地区の行く末は明るいものとはいえない。そういう状態でありながら、このような前向きなアンケートをとられ感心する。私自身 50 代後半で自分の未来しか考えていない。これからの時代は新しいタイプの若い人たちに任せ新しい地域作り⇒国作りをしていけば良い
- ・これまでの習慣にとらわれすぎることなく、意見をとり入れて頂けたらと思います
- ・アンケートに答えてるので提案した事にできるはんいていいのでしてほしい
- ・人口が減少する中アンケートを取って何の意味があるんですか？

以上

- ・中学生、高校生は部活動後帰宅すると、暗くなって帰ってくるのに街灯が少なく暗くてこわいと言います
- ・これから孫が通う通学路が、安心・安全な通路なのか心配(打越地区)
- ・通学時の見守隊を増やしてほしい
- ・安心、安全で暮らせる町である様に。子供から老人まで笑顔で、健康に元気に楽しく過したい
- ・誰も年をとっていくことを前提に安心・安全に生活できる町づくりを望む

●鳥獣害

- ・農業従事者ではないが畑に作物を作っても、イノシシ等にやられて、全く収穫出来ずやる気を無くした。ゴイサギの駆除だけでなく、イノシシ、鹿等も町で取り組んでほしい。市をあげて取り組まないとい、農業に未来はなく、過疎化と放棄地 空き家など増え(同様の回答:6)
- ・通学路にイノシシが出て、登校班もない為、危険

●農業後継者

- ・物価は上がっても農作物は上がらず、米価は下がり離農するのは当たり前、後継者ができないのは当たり前前、農家が元氣にならなくて上陽の未来は細そるばかり

●人口増

- ・人口が増える事。
- ・高齢者ばかりになって、若い方々が、生活できるような場所があれば、もっと明るくなるかも
- ・S37 年人口は約 7500 人代、活気のある町づくりにしたい

●自然環境

- ・自然を残し、安心して生活できる町、田舎だけの上陽町良いね！となるには何に力を入れたらよいのか(同様の回答:3)
- ・上陽町の山々も広く紹介してほしい。難しいとは思いますが出来れば森の塚山とか城山など登れる様に道を整備

●収益事業

- ・各地域の公民館をもっと活用できないか。例えば平時はゲストハウスなどの収益事業、災害時は地域住民のセカンドハウスにすれば宿泊もスムーズにできるし維持管理もこまめにするようになる。人口減少に伴い資金は減ることは確実なので、外資を稼ぐビジネスの視点が必要不可欠
- ・ホテルと石橋の館の公園もあれだけ川遊びの人が来ているのでお金を落とす(＝より満足してもらえる)仕組みが欲しい、マルシェを開催したりビールをドームの球場のように売り子で販売など。家族連れも多いので定住促進のブースがあっても良い、廃校や空き家も早期活用できれば資源、腐れば負の遺産になる。早め早めに次に継げるように準備できるかで大きな分かれ道になる(同様の回答:3)
- ・川の周辺は交通量が増えるので、地元の子もまたちやや年寄りがまぎこまれる事故は起きないことを願います。他からの利用者に交通ルールを守っていただくのはもちろんですが町としても駐車場等提供して受け入れる対応が必要かなと思う
- ・はたたるの館の NPO 運営中止。市が運営する

●地域活動

○まちづくり協議会について

- ・会長さんをはじめ、上陽町のまちづくりの活動に携わっておられる方々いつもありがとうございます。今後もよろしく願います
- ・私が知っている時の「まちづくり委員会」は男性がほとんどだった。全体の 1/3 以上は女性にされたらどうか？子育て中は忙しいから子育てが終わった方がよいのでは
- ・まちづくり協議会のメンバーに、子どもや若者世代(子育て中、単身者)も入ると良い。花火大会や祭など、人が集まるイベントをなくさないでほしい
- ・まちづくり計画やまちづくり協議会は未来を担う若い世代の方々が自分たちのために行うべき。現在、高齢化が進む中で若い世代をどうやって地域にとどめか考える、又、高齢者が住みやすいまちづくりをもう一度考えるべきである。現在の 50 代から後半のメンバーでまちづくりを考えても新しい発想は出てこない(同様の回答:2)
- ・若い人たちが積極的にまちづくりに関わる取り組みができればと思う。若い人が動くなれば 60 代以上は全力で支援します

○役員等の負担

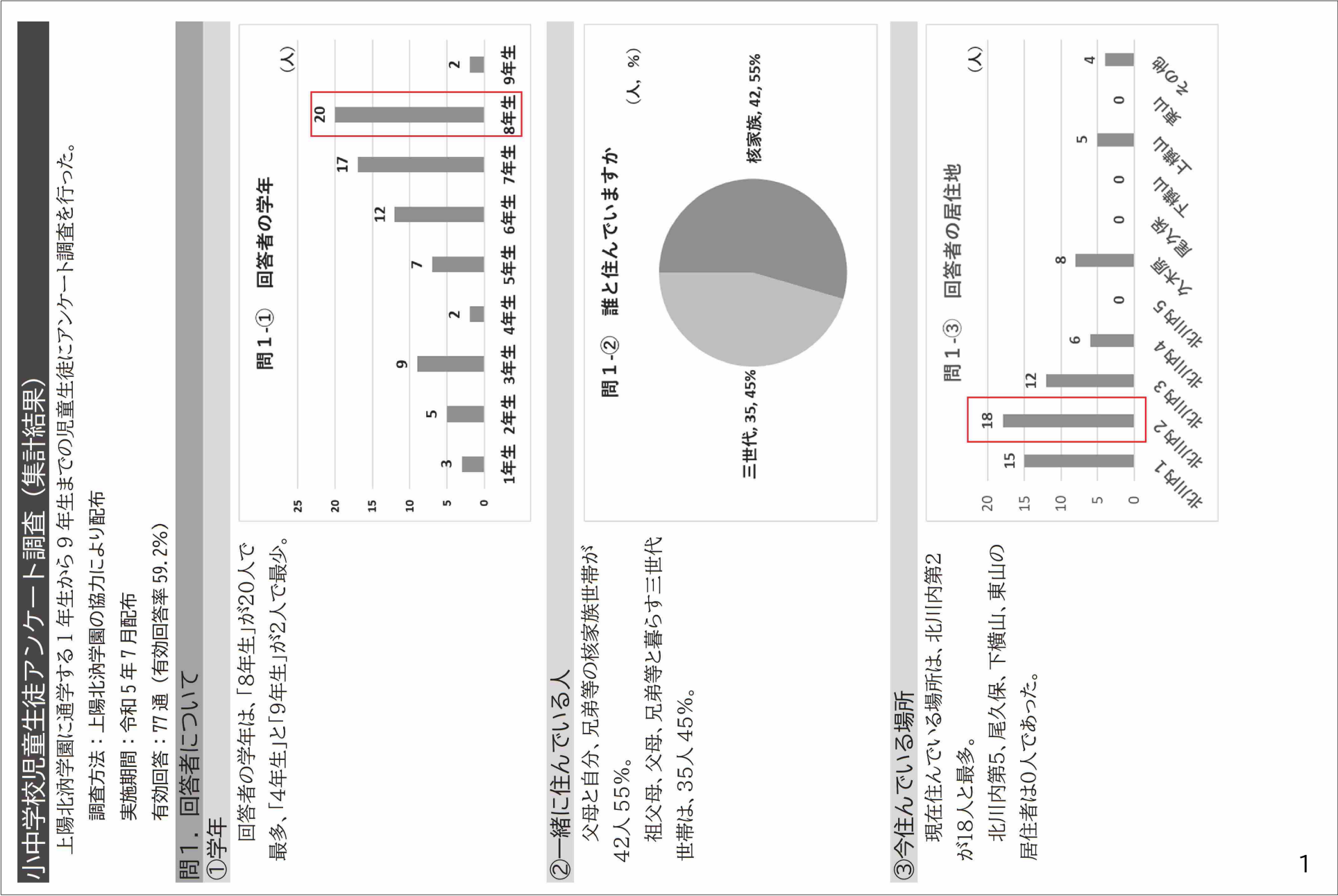
- ・住民のほとんどが高齢者。役員を立てることが難しくなっている。活動するのも大事だが、役員の負担を減らす事も必要。無理を掛けず、意見を出しやすいよう、心がける事が大切ではないか
- ・役員をするのが大変。地区役員が強制的に回ってくる。都会に脱出したい(同様の回答:2)
- ・役員は長くても 3 期までにしてほしい。そういう方は必ず自分からやりまと言われるが、周りはやめてほしいと思っている
- ・若い世代の人数が減ってきている為できるだけ役員さんの負担が軽減できればと思う

○イベント等

- ・ヒマワリ、コスモス等の活動はやめたが良い。地区の負担になっている。まちづくり目線で考えないでほしい。日常は働きに出て日曜に家の仕事をこなし、まちづくりの事で負担になるような事は止めてほしい。行事を減らしてほしい。(同様の回答:4)
- ・住民の多くが参加して交流できる(地区外の住民も。)祭りやイベント、花火の再開などがあれば良いのではないか(同様の回答:3)
- ・高齢者世帯、独居世帯が増え、空家も増えている状態で交流の場や近所付き合いも希薄になっていくと感じる。地域コミュニティを図る為、全員参加できる様なイベントをお願いする(同様の回答:2)
- ・6 次化産業の推進。継続力のある取り組みと実行委員。地区ごとでやりたいことを生かす
- ・イベントは気軽に参加できそうな物にするべき
- ・上陽地区以外から転居された人が住みやすい様に自治区の行事の参加をへらし、それでも地域の人と交流が出来る様なまちづくり
- ・住民寄付による祇園祭花火大会の開催
- ・今の状況では明るい未来が期待できない。行事にも若い人が参加して活性化できるように、よそからの移住者(よそ者)・若い人(若者)を中心(リーダー)にして改革をしてほしい(同様の回答:2)
- ・今まで仕事や子育てをしながら地域の行事や祭り

(2)小中学校児童生徒アンケート調査(集計結果:上陽北汭学園児童生徒対象)

小中学校児童生徒アンケート調査集計結果を以下に掲載します



問7. 問6の答えについてその理由	
住みたいという回答	住みたくないという回答
● 住み心地が良い、住み慣れている、落ち着くから住み続けたい 住み慣れている(同様の回答:4) 住み心地良い(同様の回答:2) 落ち着く(同様の回答:2) 良いところだと思ふ(同様の回答:2) 大人になっても学校と幼稚園に顔を出しに行きた いから この場所です満足できる わかりません。けど、住みたい なんとなく	● 都会に住みたい 大人になったら、都会に住んでみたい。(同様の回答:8) 他のところも行ってみたい、住んでみたい(同様の回答:6) 進学や就職を考えたら出ることになる、なりたい職業がここにはない(同様の回答:4) 東京、福岡市などに住んでみたい(同様の回答:2) 外の方が便利 賑やかなところが良い 今のところに住みたい気持ちはあるが違うところにも住んでみたい ずっと同じだとあんまり良い気分じゃないから
● 親、友達がいるから住み続けたい 家族が住んでいるから(同様の回答:5) 友達がいるから、会えるから(同様の回答:4) 愛犬に会える	● 一人暮らしがしたい 一回は、知っている人がいないところで一人で住んでみたい(同様の回答:2)
● 地元が好き 地元が好きだから(同様の回答:5)	● 賑やかなところ、便利なお店、生活(買い物、交通等)利便性が低い 賑やかなところが良い(同様の回答:2) 外の方が便利だから 設備(町環境)に不安がある
● 自然環境が良いから住み続けたい 自然が多いから(同様の回答:4) 田舎で静かで良い 空気がきれい きれいだから 涼しい	● 生活(買い物、交通等)利便性が低い お店やコンビニが少ない(同様の回答:7) 不便だから(同様の回答:2) 歩くのが大変 15分で学校についてきつい 坂がある
● 近隣関係が良いから 町の人が優しいからはなしやすい 人が多いから。(北川内2) 近所がいてにぎやかだから	● 災害が不安 川が氾濫するのが怖い
● その他 他の所で住むよりは、安いと思う	● 虫が多い 虫が多すぎる(同様の回答:2)
問6. 大人になっても今住んでいる場所に住みたいですか	
● わからない まだわからない	● 校區外在住者の回答 団地だから、動物が飼えないから(地区外) 校區外に住んでいるから(地区外) 便利が良いから(地区外) 部活動の関係で来ているから(地区外)

● 自身の住まいが良い 中庭があるところ 家が広い ひろくてつかいやすい。	● 校區外在住者の回答 スタバがある 交通がべんり お店がちかくにいっぱいある
問5. 今住んでいる場所の嫌いなところや不便なところ、不安を感じるところ	
● 交通利便性が低い バスが1日3回くらい(朝と夕方)しか来ない(同様の回答:2) 電車の駅がない(同様の回答:2) 帰り道が長い(北川内1)	● 遊び場がない 近くに友達が住んでいない(同様の回答:2、どちらとも北川内1) 遊ぶところが少ない(未来館、わらべ館、公園みたいなお所)(同様の回答:4) ここ何年か花火大会が行われていない(同様の回答:2)
● 道路環境が悪い 道が狭い、歩道が狭い、車が近い、車が多い、交通事故が心配(同様の回答:12) 標識が邪魔 横断歩道をつくってほしい場所がある 自転車用の道がない 坂道が多い(同様の回答:6)	● 自然環境について へびが出る、虫が多い(同様の回答:6) ほたるも少なくなった
● 買い物等生活利便性が低い 近くに店やコンビニが少ない、ない(同様の回答:19) だんだんお店が閉まっている(同様の回答:2) ゲームセンターがない 都会じゃない。周りにないもない(同様の回答:2) 町に出るまでが遠い インターネットがあまり良くない	● 来訪者等の迷惑行為 家の前の川であそびにきた人が車を止めてはいけないところに止める(同様の回答:2) 川にポイすてする人がたくさんいる(同様の回答:2) ネコを放しがいしている人がいる
● 夜が暗い怖い 夜道路が暗い、街灯がない(同様の回答:7) 近くにある山道が怖い、森の近くだから怖い(同様の回答:3) 危険なところがあるままある	● 近隣関係、生活環境が悪い だれもが住めるような環境が整っていない 周りに知っている人がいない(北川内4) 学校から遠い。(上横山) 日かげが少なくて 物が多すぎる
● 災害が不安 大雨で川が氾濫、裏山が土砂崩れすることの不安(同様の回答:11)	● 少子高齢化の心配 人口が少ない 子供が少ないのでお年寄りが心配
● 空き家が多い 空き家が多い(同様の回答:2)	● 校區外在住者の回答 学校の友達とあまり遊べない(校區外) 家のまわりに友達がいない(今住んでいる場所未回答)
問6. 大人になっても今住んでいる場所に住みたいです	
大人になっても今の場所に住みたい かどうかの設問では「どちらかと言えば住みたい」が18人25%、「住みたい」が16人22%。合計47%。 一方、「どちらかと言えば住みたくな い」は17人23%、「住みたくない」が14人19%。合計42%と「住みたい」回答がわずかに上回っている。	問6 大人になっても現居住地に住むか 上陽地区には住んでいない、(人、%) 8, 11% 住みたい, 16, 22% 住みたくない, 14, 19% どちらかといえば住みたい, 18, 25% どちらかと言えば住みたくない, 17, 23%

問8. 未来の上陽地区（上陽地区全体について）をどのようなまちにしたいですか

- ここに生まれてよかった
「ここに生まれてよかった」と思えるまち

●人口増加
人口を増やす、いろんな人たちが住めるような町にしたい(同様の回答:8)

●安心安全、平和
みんなが笑顔で安心できる町(同様の回答:4)

○災害の無いまち
災害でいろんな物が壊れない町

○のんびりして平和なまち
平和な町(同様の回答:2)
のんびりしている町

○事件事故の無いまち
事件・事故が0の町、みんながけがしないように(同様の回答:2)

●道路整備
坂が少ない
歩道が広い
標識が邪魔じゃないところに置いてほしい
道路の死角を無くしてほしい
目の不自由な方のために点字ブロックをおくこと

●自然環境
自然がいっぱいのままの上陽(同様の回答:8)
もっと自然があってインフラもあり、人が来る町にしたい(同様の回答:2)
蛭を元いた数くらいにする

●生活利便性
便利な町にしたい(同様の回答:2)
誰でも満足できるような場所

○買い物、娯楽の利便性
店などを増やす(同様の回答:9)
家族で遊べるところがたくさんある町

○公共交通の利便性
バスの本数を多くしてほしい(同様の回答:2)
駅をつくる。今よりもっと交通の便がいいまち

●知名度を上げる
みんなが来てくれるまち
有名なまち
上陽といったら誰でも知っていると見えるようなまちにしたい
「出身地が上陽」て言ったら、だれでもわかるようなまち

●やさしい町
やさしい町、やさしい人が多い町(同様の回答:3)
みんな、あいさつをしている

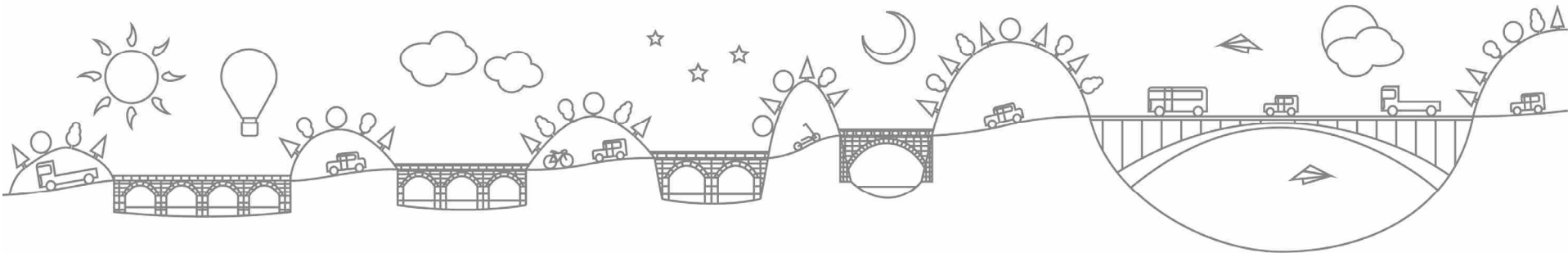
●賑やかな町
にぎやかで楽しい町(同様の回答:8)
建物がもう少しある町にしたい
豊かなまち
都会にする

●明るい町
明るい町(同様の回答:6)
- 元気、活力のあるまち
もっと元気のある上陽地区にしたい(同様の回答:4)
町の長所をひきだしきれている
楽しいところ
気持ち良い町

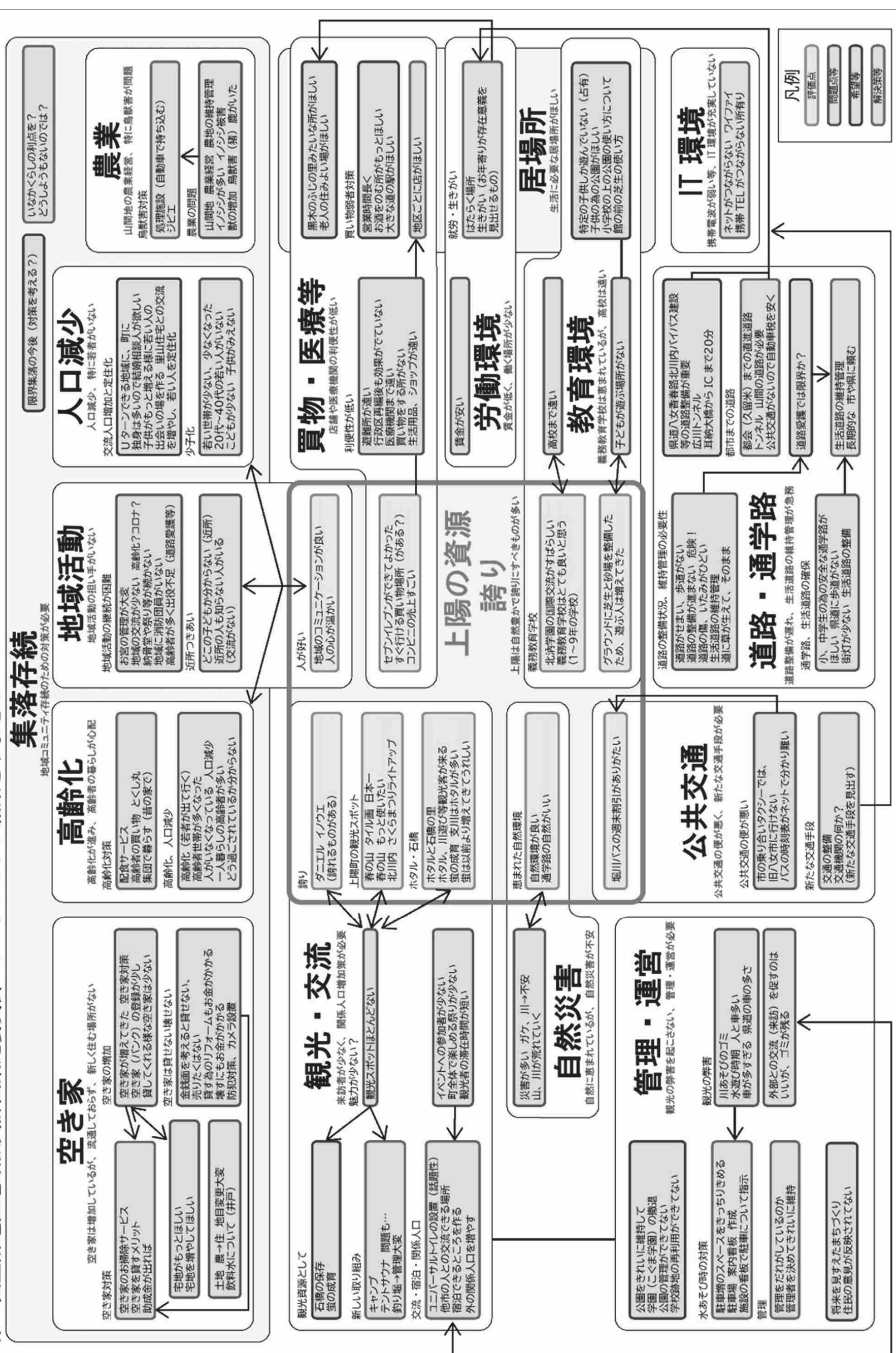
●行事等、近隣交流
もっと行事を増やしてほしい(同様の回答:2)
すれちがう人々が元気にあいさつをし合う町

●来訪者対応
川の近くに駐車場を作ってほしい
川で遊ぶ時のルールを決めたい

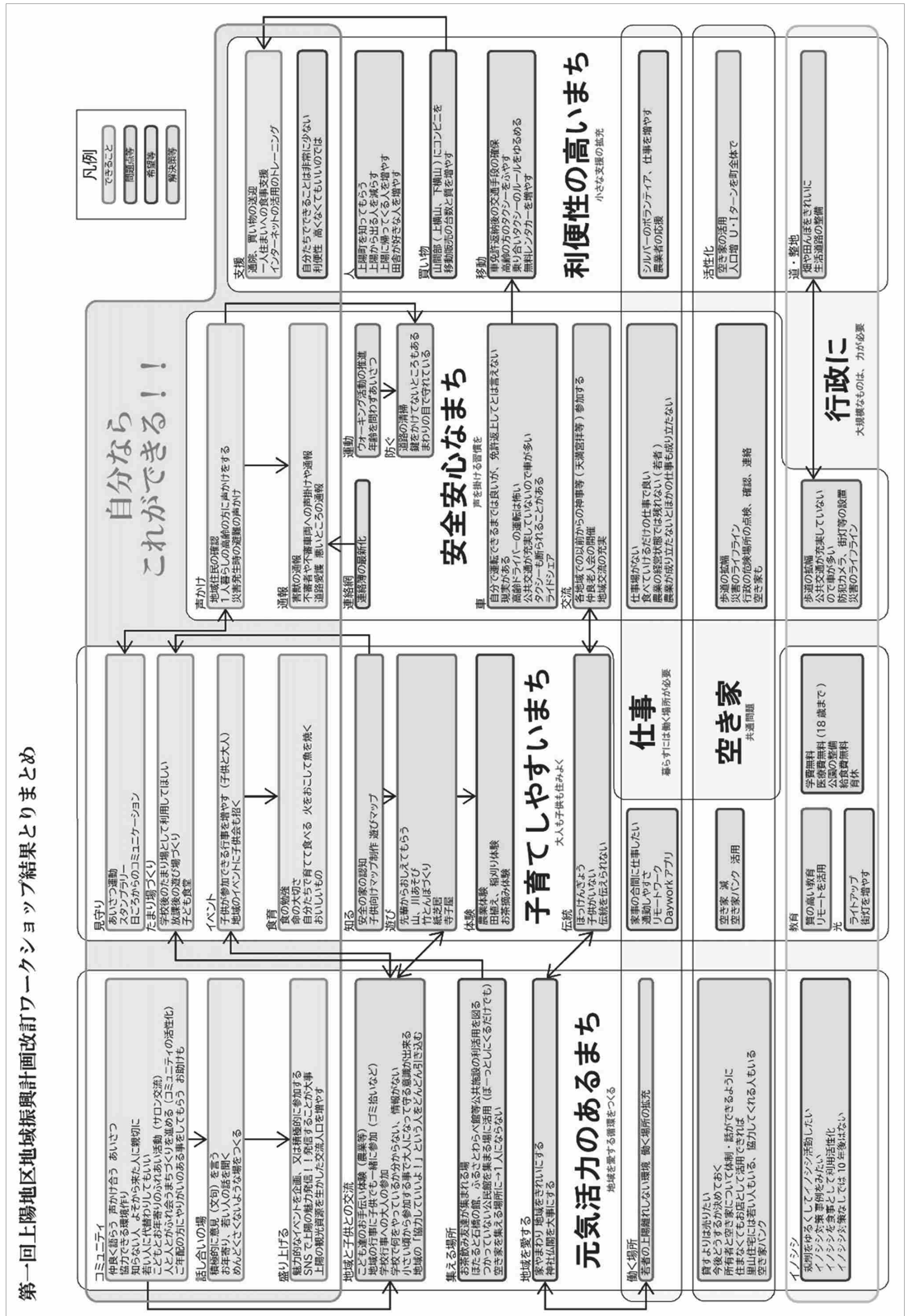
●ごみの無いきれいな町
ゴミの無い町にします
ポイ捨てのない、きれいで緑豊かな町にしたい
今よりもっときれいな上陽町にする
- 以上



第一回上陽地区地域振興計画策定委員会 ワークショップ結果とりまとめ



(2) 第一回ワークショップ（2023年10月27日開催）：「〇〇について自分ならこれができる」

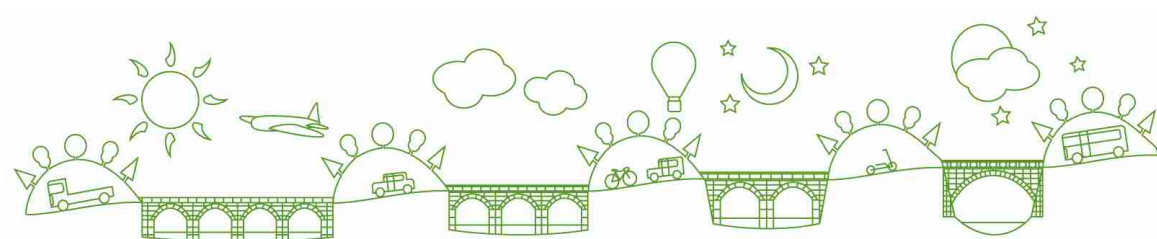


[illegible]

MEMO

上陽地区地域振興計画(第2次)
■巻末資料収録版■

令和6年3月
上陽地区まちづくり協議会
策定協力：株式会社建設技術センター



上陽地区地域振興計画（第2次）

■ 卷末資料収録版 ■